

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																				
<p>第2章 地質調査標準歩掛等</p> <p>第1節 共 通</p> <p>1-1 打合せ等</p> <p style="text-align: right;">(1業務当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主任技師</th> <th>技師 (A)</th> <th>技師 (B)</th> <th>技師 (C)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">打合せ</td> <td>業務着手時</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> <td>(対面)</td> </tr> <tr> <td>中間打合せ</td> <td>0.5</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1回当たり (対面)</td> </tr> <tr> <td>成果物納入時</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> <td>(対面)</td> </tr> <tr> <td>関係機関協議資料作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.25</td> <td>0.25</td> <td>1機関当たり</td> </tr> <tr> <td>関係機関打合せ協議</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> <td>1機関当たり (対面)</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 解析等調査業務を含まない地質調査の業務の発注において打合を規定する場合には、本歩掛は適用せず別途計上する。 2. 打合せ、関係機関打合せ協議には、打合せ議事録の作成時間及び移動時間（片道所要時間1時間程度以内）を含むものとする。 3. 打合せ、関係機関打合せ協議には、電話、電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。 4. 中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数（3回を標準）を計上する。打合せ回数を変更する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。 なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。 5. 関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とする。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。</p>	区分	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	備 考	打合せ	業務着手時	0.5	0.5		(対面)	中間打合せ	0.5		0.5	1回当たり (対面)	成果物納入時	0.5	0.5		(対面)	関係機関協議資料作成			0.25	0.25	1機関当たり	関係機関打合せ協議		0.5	0.5		1機関当たり (対面)	<p>第2章 地質調査標準歩掛等</p> <p>第1節 共 通</p> <p>1-1 打合せ等</p> <p style="text-align: right;">(1業務当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主任技師</th> <th>技師 (A)</th> <th>技師 (B)</th> <th>技師 (C)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">打合せ</td> <td>業務着手時</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> <td>(対面)</td> </tr> <tr> <td>中間打合せ</td> <td>0.5</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1回当たり (対面)</td> </tr> <tr> <td>成果物納入時</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> <td>(対面)</td> </tr> <tr> <td>関係機関協議資料作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.25</td> <td>0.25</td> <td>1機関当たり</td> </tr> <tr> <td>関係機関打合せ協議</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> <td>1機関当たり (対面)</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 解析等調査業務を含まない地質調査の業務の発注において打合を規定する場合には、本歩掛は適用せず別途計上する。 2. 打合せ、関係機関打合せ協議には、打合せ議事録の作成時間及び移動時間（片道所要時間1時間程度）を含むものとする。 3. 打合せ、関係機関打合せ協議には、電話、電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。 4. 中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数を計上する。打合せ回数を変更する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。 なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。 5. 関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とする。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。</p>	区分	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	備 考	打合せ	業務着手時	0.5	0.5		(対面)	中間打合せ	0.5		0.5	1回当たり (対面)	成果物納入時	0.5	0.5		(対面)	関係機関協議資料作成			0.25	0.25	1機関当たり	関係機関打合せ協議		0.5	0.5		1機関当たり (対面)	
区分	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	備 考																																																																	
打合せ	業務着手時	0.5	0.5		(対面)																																																																	
	中間打合せ	0.5		0.5	1回当たり (対面)																																																																	
	成果物納入時	0.5	0.5		(対面)																																																																	
関係機関協議資料作成			0.25	0.25	1機関当たり																																																																	
関係機関打合せ協議		0.5	0.5		1機関当たり (対面)																																																																	
区分	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	備 考																																																																	
打合せ	業務着手時	0.5	0.5		(対面)																																																																	
	中間打合せ	0.5		0.5	1回当たり (対面)																																																																	
	成果物納入時	0.5	0.5		(対面)																																																																	
関係機関協議資料作成			0.25	0.25	1機関当たり																																																																	
関係機関打合せ協議		0.5	0.5		1機関当たり (対面)																																																																	

(H27)

改 定	現 行	備 考																																						
<p>第2節 機械ボーリング（土質ボーリング・岩盤ボーリング）</p> <p>2-1 せん孔作業</p> <p>2-1-1 適用範囲 機械ボーリング（土質ボーリング・岩盤ボーリング）は、市場単価方式による地質調査のせん孔作業に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 機械ボーリングのうち土質ボーリングは、2-1-3表2. 1. 1に示す規格区分を対象に行う孔径φ66 mm、孔径φ86 mm、孔径φ116 mmのノンコアボーリング*1・オールコアボーリング*2とする。また、岩盤ボーリングは、2-1-3表2. 1. 2に示す規格区分を対象に行う孔径φ66 mm、孔径φ76 mm、孔径φ86 mmのせん孔長を問わないオールコアボーリング*2とする。 なお、上記適用範囲外については別途計上する。</p> <p>*1. ノンコアボーリング ・コアの採取をしないボーリング。 ・標準貫入試験及びサンプリング（採取試料の土質試験）等の併用による地質状況の把握が可能である。</p> <p>*2. オールコアボーリング ・観察に供するコアを採取するボーリング。 ・連続的にコアを採取し、試料箱（コア箱）に納めて納品する。 ・採取したコアを連続的に確認できることから、詳細な地質状況の把握が可能である。</p> <p>2-1-2 編成人員 滞在費を算出するための機械ボーリング1パーティあたりの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>職種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> <tr> <td>人員</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> </table> <p>2-1-3 市場単価の設定</p> <p>1. 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th rowspan="2">調 査 費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>機械ボーリング</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <div style="margin-left: 20px;"> </div>	職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0	1.0	調 査 費	市場単価			機	労	材	機械ボーリング	○	○	○	<p>第2節 機械ボーリング（土質ボーリング・岩盤ボーリング）</p> <p>（新設）</p> <p>2-1 適用範囲 機械ボーリング（土質ボーリング・岩盤ボーリング）は、市場単価方式による地質調査のせん孔作業に適用する。</p> <p>2-1-1 市場単価が適用できる範囲 機械ボーリングのうち土質ボーリングは、2-3-2表2. 1に示す規格区分を対象に行う孔径φ66 mm、孔径φ86 mm、孔径φ116 mmのノンコアボーリング*1とする。また、岩盤ボーリングは、2-3-2表2. 2に示す規格区分を対象に行う孔径φ66 mm、孔径φ76 mm、孔径φ86 mmのせん孔長を問わないオールコアボーリング*2とする。 なお、上記適用範囲外については別途計上する。 ※土質ボーリングにおいて、コアの採取を行うオールコアボーリングは適用範囲外である。</p> <p>*1. ノンコアボーリング ・コアの採取をしないボーリング。 ・標準貫入試験及びサンプリング（採取試料の土質試験）等の併用による地質状況の把握が可能である。</p> <p>*2. オールコアボーリング ・観察に供するコアを採取するボーリング。 ・連続的にコアを採取し、試料箱（コア箱）に納めて納品する。 ・採取したコアを連続的に確認できることから、詳細な地質状況の把握が可能である。</p> <p>2-2 編成人員 滞在費を算出するための機械ボーリング1パーティあたりの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>職種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> <tr> <td>人員</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> </table> <p>2-3 市場単価の設定</p> <p>2-3-1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th rowspan="2">調 査 費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>機械ボーリング</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <div style="margin-left: 20px;"> </div>	職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0	1.0	調 査 費	市場単価			機	労	材	機械ボーリング	○	○	○	
職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																					
人員	0.5	1.0	1.0																																					
調 査 費	市場単価																																							
	機	労	材																																					
機械ボーリング	○	○	○																																					
職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																					
人員	0.5	1.0	1.0																																					
調 査 費	市場単価																																							
	機	労	材																																					
機械ボーリング	○	○	○																																					

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																				
<p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表2. 1. 1 土質ボーリングの規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">φ 66mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 86mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 116mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>表2. 1. 2 岩盤ボーリングの規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">φ 66mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>極硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>破碎帯</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 76mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>極硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>破碎帯</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">φ 86mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p>	種 別	規 格	単 位	φ 66mm	粘性土・シルト	m	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	φ 86mm	粘性土・シルト	m	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	φ 116mm	粘性土・シルト	m	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	種 別	規 格	単 位	φ 66mm	軟岩	m	中硬岩	〃	硬岩	〃	極硬岩	〃	破碎帯	〃	φ 76mm	軟岩	m	中硬岩	〃	硬岩	〃	極硬岩	〃	破碎帯	〃	φ 86mm	軟岩	m	中硬岩	〃	<p>2-3-2 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表2. 1 土質ボーリングの規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">φ 66mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 86mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 116mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>表2. 2 岩盤ボーリングの規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">φ 66mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>極硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>破碎帯</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 76mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>極硬岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>破碎帯</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">φ 86mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p>	種 別	規 格	単 位	φ 66mm	粘性土・シルト	m	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	φ 86mm	粘性土・シルト	m	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	φ 116mm	粘性土・シルト	m	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	種 別	規 格	単 位	φ 66mm	軟岩	m	中硬岩	〃	硬岩	〃	極硬岩	〃	破碎帯	〃	φ 76mm	軟岩	m	中硬岩	〃	硬岩	〃	極硬岩	〃	破碎帯	〃	φ 86mm	軟岩	m	中硬岩	〃	
種 別	規 格	単 位																																																																																																																																				
φ 66mm	粘性土・シルト	m																																																																																																																																				
	砂・砂質土	〃																																																																																																																																				
	礫混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	玉石混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																																																																																				
φ 86mm	粘性土・シルト	m																																																																																																																																				
	砂・砂質土	〃																																																																																																																																				
	礫混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	玉石混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																																																																																				
φ 116mm	粘性土・シルト	m																																																																																																																																				
	砂・砂質土	〃																																																																																																																																				
	礫混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	玉石混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																																																																																				
種 別	規 格	単 位																																																																																																																																				
φ 66mm	軟岩	m																																																																																																																																				
	中硬岩	〃																																																																																																																																				
	硬岩	〃																																																																																																																																				
	極硬岩	〃																																																																																																																																				
	破碎帯	〃																																																																																																																																				
φ 76mm	軟岩	m																																																																																																																																				
	中硬岩	〃																																																																																																																																				
	硬岩	〃																																																																																																																																				
	極硬岩	〃																																																																																																																																				
	破碎帯	〃																																																																																																																																				
φ 86mm	軟岩	m																																																																																																																																				
	中硬岩	〃																																																																																																																																				
種 別	規 格	単 位																																																																																																																																				
φ 66mm	粘性土・シルト	m																																																																																																																																				
	砂・砂質土	〃																																																																																																																																				
	礫混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	玉石混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																																																																																				
φ 86mm	粘性土・シルト	m																																																																																																																																				
	砂・砂質土	〃																																																																																																																																				
	礫混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	玉石混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																																																																																				
φ 116mm	粘性土・シルト	m																																																																																																																																				
	砂・砂質土	〃																																																																																																																																				
	礫混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	玉石混じり土砂	〃																																																																																																																																				
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																																																																																				
種 別	規 格	単 位																																																																																																																																				
φ 66mm	軟岩	m																																																																																																																																				
	中硬岩	〃																																																																																																																																				
	硬岩	〃																																																																																																																																				
	極硬岩	〃																																																																																																																																				
	破碎帯	〃																																																																																																																																				
φ 76mm	軟岩	m																																																																																																																																				
	中硬岩	〃																																																																																																																																				
	硬岩	〃																																																																																																																																				
	極硬岩	〃																																																																																																																																				
	破碎帯	〃																																																																																																																																				
φ 86mm	軟岩	m																																																																																																																																				
	中硬岩	〃																																																																																																																																				

(H27)

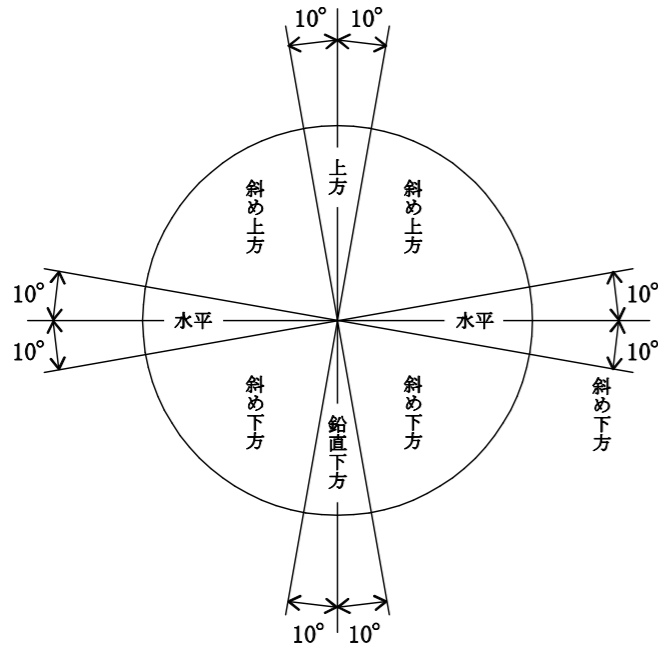
改 定	現 行	備 考																																																																																																																		
<p>3. 補正係数の設定</p> <p>表 2. 1. 3 土質ボーリングの補正係数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>補正の区分</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">せん孔深度</td> <td>50m以下</td> <td>K1</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>50m超80m以下</td> <td>K2</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>80m超100m以下</td> <td>K3</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">せん孔方向</td> <td>鉛直下方</td> <td>K8</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>斜め下方</td> <td>K9</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>水平</td> <td>K10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>斜め上方</td> <td>K11</td> <td>1.40</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2. 1. 4 岩盤ボーリングの補正係数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>補正の区分</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">せん孔深度</td> <td>50m以下</td> <td>K4</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>50m超80m以下</td> <td>K5</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>80m超120m以下</td> <td>K6</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>120m超</td> <td>K7</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">せん孔方向</td> <td>鉛直下方</td> <td>K12</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>斜め下方</td> <td>K13</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>水平</td> <td>K14</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>斜め上方</td> <td>K15</td> <td>1.40</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 直接調査費の算出</p> <p>直接調査費＝設計単価×設計数量 設計価格＝標準の市場単価×せん孔延長×（K1～K7）×（K8～K15）</p> <p>[算出例] せん孔深度 80m（軟岩 60m，中硬岩 20m）斜め下方の岩盤ボーリングを行う場合 （補正係数） せん孔深度 （ 50m超 80m以下 ）：K5 せん孔方向 （斜め下方） ：K13</p> <p>（軟岩の市場単価 [50m以下] ×60m＋中硬岩の市場単価 [50m以下] ×20m）×K5×K13</p> <p>注）せん孔深度の補正係数は、各ボーリングの深度より適用基準に当てはまるものを選び、深度全体を補正の対象とする。</p>	補正の区分	適用基準	記号	補正係数	せん孔深度	50m以下	K1	1.00	50m超80m以下	K2	1.10	80m超100m以下	K3	1.15	せん孔方向	鉛直下方	K8	1.00	斜め下方	K9	1.15	水平	K10	1.20	斜め上方	K11	1.40	補正の区分	適用基準	記号	補正係数	せん孔深度	50m以下	K4	1.00	50m超80m以下	K5	1.10	80m超120m以下	K6	1.15	120m超	K7	1.25	せん孔方向	鉛直下方	K12	1.00	斜め下方	K13	1.15	水平	K14	1.20	斜め上方	K15	1.40	<p>2-3-3 補正係数の設定</p> <p>表 2. 3 土質ボーリングの補正係数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>補正の区分</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">せん孔深度</td> <td>50m以下</td> <td>K1</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>50m超80m以下</td> <td>K2</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>80m超100m以下</td> <td>K3</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">せん孔方向</td> <td>鉛直下方</td> <td>K8</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>斜め下方</td> <td>K9</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>水平</td> <td>K10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>斜め上方</td> <td>K11</td> <td>1.40</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2. 4 岩盤ボーリングの補正係数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>補正の区分</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">せん孔深度</td> <td>50m以下</td> <td>K4</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>50m超80m以下</td> <td>K5</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>80m超120m以下</td> <td>K6</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>120m超</td> <td>K7</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">せん孔方向</td> <td>鉛直下方</td> <td>K12</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>斜め下方</td> <td>K13</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>水平</td> <td>K14</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>斜め上方</td> <td>K15</td> <td>1.40</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-3-4 直接調査費の算出</p> <p>直接調査費＝設計単価×設計数量 設計価格＝標準の市場単価×せん孔延長×（K1～K7）×（K8～K15）</p> <p>[算出例] せん孔深度 80m（軟岩 60m，中硬岩 20m）斜め下方の岩盤ボーリングを行う場合 （補正係数） せん孔深度 （ 50m超 80m以下 ）：K5 せん孔方向 （斜め下方） ：K13</p> <p>（軟岩の市場単価 [50m以下] ×60m＋中硬岩の市場単価 [50m以下] ×20m）×K5×K13</p>	補正の区分	適用基準	記号	補正係数	せん孔深度	50m以下	K1	1.00	50m超80m以下	K2	1.10	80m超100m以下	K3	1.15	せん孔方向	鉛直下方	K8	1.00	斜め下方	K9	1.15	水平	K10	1.20	斜め上方	K11	1.40	補正の区分	適用基準	記号	補正係数	せん孔深度	50m以下	K4	1.00	50m超80m以下	K5	1.10	80m超120m以下	K6	1.15	120m超	K7	1.25	せん孔方向	鉛直下方	K12	1.00	斜め下方	K13	1.15	水平	K14	1.20	斜め上方	K15	1.40	
補正の区分	適用基準	記号	補正係数																																																																																																																	
せん孔深度	50m以下	K1	1.00																																																																																																																	
	50m超80m以下	K2	1.10																																																																																																																	
	80m超100m以下	K3	1.15																																																																																																																	
せん孔方向	鉛直下方	K8	1.00																																																																																																																	
	斜め下方	K9	1.15																																																																																																																	
	水平	K10	1.20																																																																																																																	
	斜め上方	K11	1.40																																																																																																																	
補正の区分	適用基準	記号	補正係数																																																																																																																	
せん孔深度	50m以下	K4	1.00																																																																																																																	
	50m超80m以下	K5	1.10																																																																																																																	
	80m超120m以下	K6	1.15																																																																																																																	
	120m超	K7	1.25																																																																																																																	
せん孔方向	鉛直下方	K12	1.00																																																																																																																	
	斜め下方	K13	1.15																																																																																																																	
	水平	K14	1.20																																																																																																																	
	斜め上方	K15	1.40																																																																																																																	
補正の区分	適用基準	記号	補正係数																																																																																																																	
せん孔深度	50m以下	K1	1.00																																																																																																																	
	50m超80m以下	K2	1.10																																																																																																																	
	80m超100m以下	K3	1.15																																																																																																																	
せん孔方向	鉛直下方	K8	1.00																																																																																																																	
	斜め下方	K9	1.15																																																																																																																	
	水平	K10	1.20																																																																																																																	
	斜め上方	K11	1.40																																																																																																																	
補正の区分	適用基準	記号	補正係数																																																																																																																	
せん孔深度	50m以下	K4	1.00																																																																																																																	
	50m超80m以下	K5	1.10																																																																																																																	
	80m超120m以下	K6	1.15																																																																																																																	
	120m超	K7	1.25																																																																																																																	
せん孔方向	鉛直下方	K12	1.00																																																																																																																	
	斜め下方	K13	1.15																																																																																																																	
	水平	K14	1.20																																																																																																																	
	斜め上方	K15	1.40																																																																																																																	

(H27)

改 定	現 行	備 考
-----	-----	-----

2-1-4 適用に当たっての留意事項

1. ボーリングせん孔方向の適用範囲



2. 地質調査の土質・岩分類

地質調査の土質・岩分類は下表を標準とする。

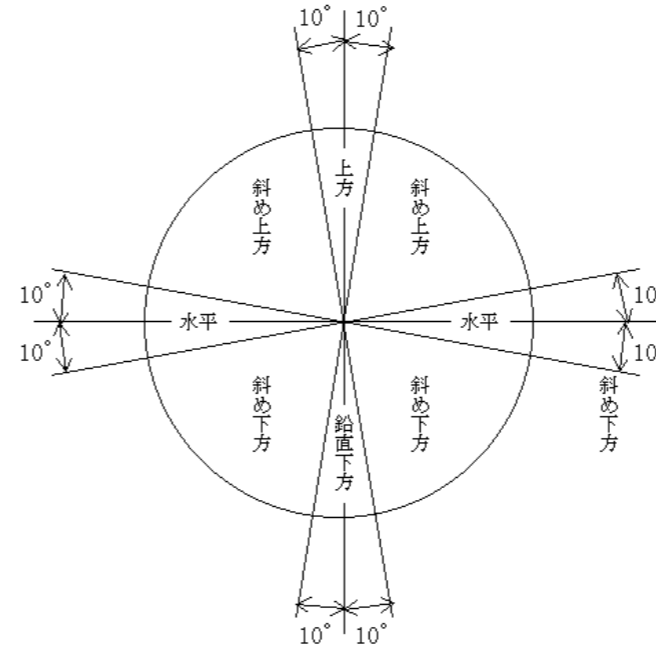
表2. 1. 5 土質・岩分類

土質・岩分類	土質分類及びボーリング掘進状況	地山弾性波速度 (km/sec)	一軸圧縮強度 (N/mm ²)
粘土・シルト	ML, MH, CL, CH, OL, OH, OV, VL, VH ₁ , VH ₂	—	—
砂・砂質土	S, S-G, S-F, S-FG, SG, SG-F, SF, SF-G, SFG	—	—
礫混り土砂	G, G-S, G-F, G-FS, GS, GS-F, GF, GF-S, GFS	—	—
玉石混り土砂	—	—	—
固結シルト・固結粘土	—	—	—
軟 岩	マルクランで容易に掘進できる岩盤	2.5以下	30以下
中硬岩	マルクランでも掘進できるがダイヤモンドビットの方がコア採取率が良い岩盤	2.5超3.5以下	30～80
硬 岩	ダイヤモンドビットを使用しないと掘進困難な岩盤	3.5超4.5以下	80～150
極硬岩	ダイヤモンドビットのライフが短い岩盤	4.5超	150～180
破碎帯	ダイヤモンドビットの摩耗が特に激しく、崩壊が著しくコア詰まりの多い岩盤	—	—

上表の分類は、地盤材料の工学的分類法（小分類）による。

2-4 適用に当たっての留意事項

1. ボーリングせん孔方向の適用範囲



2. 地質調査の土質・岩分類

地質調査の土質・岩分類は下表を標準とする。

表2. 5 土質・岩分類

土質・岩分類	土質分類及びボーリング掘進状況	地山弾性波速度 (km/sec)	一軸圧縮強度 (N/mm ²)
粘土・シルト	ML, MH, CL, CH, OL, OH, OV, VL, VH ₁ , VH ₂	—	—
砂・砂質土	S, S-G, S-F, S-FG, SG, SG-F, SF, SF-G, SFG	—	—
礫混り土砂	G, G-S, G-F, G-FS, GS, GS-F, GF, GF-S, GFS	—	—
玉石混り土砂	—	—	—
固結シルト・固結粘土	—	—	—
軟 岩	マルクランで容易に掘進できる岩盤	2.5以下	30以下
中硬岩	マルクランでも掘進できるがダイヤモンドビットの方がコア採取率が良い岩盤	2.5超3.5以下	30～80
硬 岩	ダイヤモンドビットを使用しないと掘進困難な岩盤	3.5超4.5以下	80～150
極硬岩	ダイヤモンドビットのライフが短い岩盤	4.5超	150～180
破碎帯	ダイヤモンドビットの摩耗が特に激しく、崩壊が著しくコア詰まりの多い岩盤	—	—

上表の分類は、地盤材料の工学的分類法（小分類）による。

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																																																																										
<p>3. 水源までの距離が20m未満の場合の給水費は含むものとする。</p> <p>4. 運搬費，仮設費，宿泊費等は別途計上する。</p> <p>5. 標準貫入試験及びサンプリング等の延長も掘削延長に含むものとする。</p> <p>6. 保孔材料，標本箱等は含むものとする。</p> <p>7. 泥水処理費用等が必要な場合は別途計上する。</p> <p>8. 採取方法及び採取深度を決定するために先行ボーリングを実施する場合は，別途箇所数を計上する。</p> <p>2-1-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2. 1. 6 土質ボーリング（ノンコア）の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別・規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">φ 66mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 86mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 116mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>工期算定等にあたっては，作業条件による補正は行わない。 ※オールコアボーリングの場合は，表2. 1. 6の各日当たり作業量に補正係数0.85を掛けるものとする。</p> <p>表2. 1. 7 岩盤ボーリング（オールコア）の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別・規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">φ 66mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>硬岩</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>極硬岩</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>破碎帯</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 76mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>硬岩</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>極硬岩</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>破碎帯</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">φ 86mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>工期算定等にあたっては，作業条件による補正は行わない。</p>	種 別・規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	φ 66mm	粘性土・シルト	m	7.0	砂・砂質土	〃	6.0	礫混じり土砂	〃	4.0	玉石混じり土砂	〃	2.0	固結シルト・固結粘土	〃	4.0	φ 86mm	粘性土・シルト	m	6.0	砂・砂質土	〃	5.0	礫混じり土砂	〃	3.0	玉石混じり土砂	〃	2.0	固結シルト・固結粘土	〃	4.0	φ 116mm	粘性土・シルト	m	5.0	砂・砂質土	〃	4.0	礫混じり土砂	〃	3.0	玉石混じり土砂	〃	2.0	固結シルト・固結粘土	〃	3.0	種 別・規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	φ 66mm	軟岩	m	4.0	中硬岩	〃	3.0	硬岩	〃	3.0	極硬岩	〃	2.0	破碎帯	〃	2.0	φ 76mm	軟岩	m	4.0	中硬岩	〃	3.0	硬岩	〃	3.0	極硬岩	〃	2.0	破碎帯	〃	2.0	φ 86mm	軟岩	m	4.0	中硬岩	〃	3.0	<p>3. 水源までの距離が20m未満の場合の給水費は含むものとする。</p> <p>4. 運搬費，仮設費，宿泊費等は別途計上する。</p> <p>5. 標準貫入試験及びサンプリング等の延長も掘削延長に含むものとする。</p> <p>6. 保孔材料，標本箱等は含むものとする。</p> <p>7. 泥水処理費用等が必要な場合は別途計上する。</p> <p>8. 採取方法及び採取深度を決定するために先行ボーリングを実施する場合は，別途箇所数を計上する。</p> <p>2-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2. 6 土質ボーリングの日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別・規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">φ 66mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 86mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 116mm</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>m</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>工期算定等にあたっては，作業条件による補正は行わない。</p> <p>表2. 7 岩盤ボーリングの日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別・規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">φ 66mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>硬岩</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>極硬岩</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>破碎帯</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">φ 76mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>硬岩</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>極硬岩</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>破碎帯</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">φ 86mm</td> <td>軟岩</td> <td>m</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>中硬岩</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>工期算定等にあたっては，作業条件による補正は行わない。</p>	種 別・規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	φ 66mm	粘性土・シルト	m	7.0	砂・砂質土	〃	6.0	礫混じり土砂	〃	4.0	玉石混じり土砂	〃	2.0	固結シルト・固結粘土	〃	4.0	φ 86mm	粘性土・シルト	m	6.0	砂・砂質土	〃	5.0	礫混じり土砂	〃	3.0	玉石混じり土砂	〃	2.0	固結シルト・固結粘土	〃	4.0	φ 116mm	粘性土・シルト	m	5.0	砂・砂質土	〃	4.0	礫混じり土砂	〃	3.0	玉石混じり土砂	〃	2.0	固結シルト・固結粘土	〃	3.0	種 別・規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	φ 66mm	軟岩	m	4.0	中硬岩	〃	3.0	硬岩	〃	3.0	極硬岩	〃	2.0	破碎帯	〃	2.0	φ 76mm	軟岩	m	4.0	中硬岩	〃	3.0	硬岩	〃	3.0	極硬岩	〃	2.0	破碎帯	〃	2.0	φ 86mm	軟岩	m	4.0	中硬岩	〃	3.0	
種 別・規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																																																																																																																																																																																										
φ 66mm	粘性土・シルト	m	7.0																																																																																																																																																																																									
	砂・砂質土	〃	6.0																																																																																																																																																																																									
	礫混じり土砂	〃	4.0																																																																																																																																																																																									
	玉石混じり土砂	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
	固結シルト・固結粘土	〃	4.0																																																																																																																																																																																									
φ 86mm	粘性土・シルト	m	6.0																																																																																																																																																																																									
	砂・砂質土	〃	5.0																																																																																																																																																																																									
	礫混じり土砂	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	玉石混じり土砂	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
	固結シルト・固結粘土	〃	4.0																																																																																																																																																																																									
φ 116mm	粘性土・シルト	m	5.0																																																																																																																																																																																									
	砂・砂質土	〃	4.0																																																																																																																																																																																									
	礫混じり土砂	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	玉石混じり土砂	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
	固結シルト・固結粘土	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
種 別・規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																																																																																																																																																																																										
φ 66mm	軟岩	m	4.0																																																																																																																																																																																									
	中硬岩	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	硬岩	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	極硬岩	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
	破碎帯	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
φ 76mm	軟岩	m	4.0																																																																																																																																																																																									
	中硬岩	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	硬岩	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	極硬岩	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
	破碎帯	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
φ 86mm	軟岩	m	4.0																																																																																																																																																																																									
	中硬岩	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
種 別・規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																																																																																																																																																																																										
φ 66mm	粘性土・シルト	m	7.0																																																																																																																																																																																									
	砂・砂質土	〃	6.0																																																																																																																																																																																									
	礫混じり土砂	〃	4.0																																																																																																																																																																																									
	玉石混じり土砂	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
	固結シルト・固結粘土	〃	4.0																																																																																																																																																																																									
φ 86mm	粘性土・シルト	m	6.0																																																																																																																																																																																									
	砂・砂質土	〃	5.0																																																																																																																																																																																									
	礫混じり土砂	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	玉石混じり土砂	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
	固結シルト・固結粘土	〃	4.0																																																																																																																																																																																									
φ 116mm	粘性土・シルト	m	5.0																																																																																																																																																																																									
	砂・砂質土	〃	4.0																																																																																																																																																																																									
	礫混じり土砂	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	玉石混じり土砂	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
	固結シルト・固結粘土	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
種 別・規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																																																																																																																																																																																										
φ 66mm	軟岩	m	4.0																																																																																																																																																																																									
	中硬岩	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	硬岩	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	極硬岩	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
	破碎帯	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
φ 76mm	軟岩	m	4.0																																																																																																																																																																																									
	中硬岩	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	硬岩	〃	3.0																																																																																																																																																																																									
	極硬岩	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
	破碎帯	〃	2.0																																																																																																																																																																																									
φ 86mm	軟岩	m	4.0																																																																																																																																																																																									
	中硬岩	〃	3.0																																																																																																																																																																																									

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																						
<p>2-2 サンプリング</p> <p>2-2-1 適用範囲 サンプリングは、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 機械ボーリングにおけるサンプリングのうち、シンウォールサンプリング、デニソンサンプリング、トリプルサンプリングに適用する。</p> <p>2-2-2 編成人員 滞在費を算出するためのサンプリングの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>職種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </table> <p>2-2-3 市場単価の設定</p> <p>1. 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">調 査 費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>サンプリング</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表 2. 2. 1 サンプリングの規格区分及び選定方法</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>採取目的</th> <th>必要な孔径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シンウォールサンプリング 軟弱な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)</td> <td>本</td> <td>軟弱な粘性土の乱さな い試料の採取</td> <td>86mm以上</td> </tr> <tr> <td>デニソンサンプリング 硬質な粘性土 (4 < N値)</td> <td>〃</td> <td>硬質粘性土の採取</td> <td>116mm以上</td> </tr> <tr> <td>トリプルサンプリング 砂質土</td> <td>〃</td> <td>砂質土の採取</td> <td>116mm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 直接調査費の算出 直接調査費 = 設計単価 × 設計数量 設計単価 = 標準の市場単価</p> <p>4. 適用に当たっての留意事項 単価は、パラフィンワックス、キャップ、運搬用アイスボックス、ドライアイス等を含むものとする。</p>	職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0	1.0	調 査 費	市場単価			機	労	材	サンプリング	○	○	○	種 別 ・ 規 格	単 位	採取目的	必要な孔径	シンウォールサンプリング 軟弱な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)	本	軟弱な粘性土の乱さな い試料の採取	86mm以上	デニソンサンプリング 硬質な粘性土 (4 < N値)	〃	硬質粘性土の採取	116mm以上	トリプルサンプリング 砂質土	〃	砂質土の採取	116mm以上	<p>第3節 サンプリング</p> <p>3-1 適用範囲 サンプリングは、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>3-1-1 市場単価が適用できる範囲 機械ボーリングにおけるサンプリングのうち、シンウォールサンプリング、デニソンサンプリング、トリプルサンプリングに適用する。</p> <p>3-2 編成人員 滞在費を算出するためのサンプリングの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>職種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </table> <p>3-3 市場単価の設定</p> <p>3-3-1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">調 査 費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>サンプリング</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>3-3-2 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表 3. 1 サンプリングの規格区分及び選定方法</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>採取目的</th> <th>必要な孔径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シンウォールサンプリング 軟弱な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)</td> <td>本</td> <td>軟弱な粘性土の乱さな い資料の採取</td> <td>86mm以上</td> </tr> <tr> <td>デニソンサンプリング 硬質な粘性土 (4 < N値)</td> <td>〃</td> <td>硬質粘性土の採取</td> <td>116mm以上</td> </tr> <tr> <td>トリプルサンプリング 砂質土</td> <td>〃</td> <td>砂質土の採取</td> <td>116mm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3-3 直接調査費の算出 直接調査費 = 設計単価 × 設計数量 設計単価 = 標準の市場単価</p> <p>3-3-4 適用に当たっての留意事項 単価は、パラフィンワックス、キャップ、運搬用アイスボックス、ドライアイス等を含むものとする。</p>	職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0	1.0	調 査 費	市場単価			機	労	材	サンプリング	○	○	○	種 別 ・ 規 格	単 位	採取目的	必要な孔径	シンウォールサンプリング 軟弱な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)	本	軟弱な粘性土の乱さな い資料の採取	86mm以上	デニソンサンプリング 硬質な粘性土 (4 < N値)	〃	硬質粘性土の採取	116mm以上	トリプルサンプリング 砂質土	〃	砂質土の採取	116mm以上	
職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																																																					
人員	0.5	1.0	1.0																																																																					
調 査 費	市場単価																																																																							
	機	労	材																																																																					
サンプリング	○	○	○																																																																					
種 別 ・ 規 格	単 位	採取目的	必要な孔径																																																																					
シンウォールサンプリング 軟弱な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)	本	軟弱な粘性土の乱さな い試料の採取	86mm以上																																																																					
デニソンサンプリング 硬質な粘性土 (4 < N値)	〃	硬質粘性土の採取	116mm以上																																																																					
トリプルサンプリング 砂質土	〃	砂質土の採取	116mm以上																																																																					
職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																																																					
人員	0.5	1.0	1.0																																																																					
調 査 費	市場単価																																																																							
	機	労	材																																																																					
サンプリング	○	○	○																																																																					
種 別 ・ 規 格	単 位	採取目的	必要な孔径																																																																					
シンウォールサンプリング 軟弱な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)	本	軟弱な粘性土の乱さな い資料の採取	86mm以上																																																																					
デニソンサンプリング 硬質な粘性土 (4 < N値)	〃	硬質粘性土の採取	116mm以上																																																																					
トリプルサンプリング 砂質土	〃	砂質土の採取	116mm以上																																																																					

(H27)

改 定	現 行																																																														
<p>2-2-4 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表 2. 2. 2 サンプルングの日当たり作業量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シンウォール サ ンプルング 軟質な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)</td> <td>本</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>デニソン サ ンプルング 硬質な粘性土 (4 < N値)</td> <td>〃</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>トリプル サ ンプルング 砂質土</td> <td>〃</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-3 サウンディング及び原位置試験</p> <p>2-3-1 適用範囲 サウンディング及び原位置試験は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 サウンディング及び原位置試験のうち、標準貫入試験、孔内水平載荷試験、現場透水試験、スウェーデン式サウンディング、オランダ式二重管コーン貫入試験、ポータブルコーン貫入試験に適用する。</p> <p>2-3-2 編成人員 滞在費を算出するためのサウンディング及び原位置試験の編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人員</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-3-3 市場単価の設定</p> <p>1. 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調 査 費</th> <th colspan="3">市 場 単 価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サウンディング 及び原位置試験</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">機材搬入</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">足場仮設置</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">せん孔</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">サンプリング</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">サウンディング 及び原位置試験</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">足場仮撤去</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">機材搬出</div> </div>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	シンウォール サ ンプルング 軟質な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)	本	5	デニソン サ ンプルング 硬質な粘性土 (4 < N値)	〃	4	トリプル サ ンプルング 砂質土	〃	3	職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0	1.0	調 査 費	市 場 単 価			機	労	材	サウンディング 及び原位置試験	○	○	○	<p>3-4 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表 3. 2 サンプルングの日当たり作業量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シンウォール サ ンプルング 軟質な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)</td> <td>本</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>デニソン サ ンプルング 硬質な粘性土 (4 < N値)</td> <td>〃</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>トリプル サ ンプルング 砂質土</td> <td>〃</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>第4節 サウンディング及び原位置試験</p> <p>4-1 適用範囲 サウンディング及び原位置試験は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>4-1-1 市場単価が適用できる範囲 サウンディング及び原位置試験のうち、標準貫入試験、孔内水平載荷試験、現場透水試験、スウェーデン式サウンディング、オランダ式二重管コーン貫入試験、ポータブルコーン貫入試験に適用する。</p> <p>4-2 編成人員 滞在費を算出するためのサウンディング及び原位置試験の編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人員</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 市場単価の設定</p> <p>4-3-1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調 査 費</th> <th colspan="3">市 場 単 価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サウンディング 及び原位置試験</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">機材搬入</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">足場仮設置</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">せん孔</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">サンプリング</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">サウンディング 及び原位置試験</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">足場仮撤去</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">機材搬出</div> </div>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	シンウォール サ ンプルング 軟質な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)	本	5	デニソン サ ンプルング 硬質な粘性土 (4 < N値)	〃	4	トリプル サ ンプルング 砂質土	〃	3	職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0	1.0	調 査 費	市 場 単 価			機	労	材	サウンディング 及び原位置試験	○	○	○
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																																																													
シンウォール サ ンプルング 軟質な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)	本	5																																																													
デニソン サ ンプルング 硬質な粘性土 (4 < N値)	〃	4																																																													
トリプル サ ンプルング 砂質土	〃	3																																																													
職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																																												
人員	0.5	1.0	1.0																																																												
調 査 費	市 場 単 価																																																														
	機	労	材																																																												
サウンディング 及び原位置試験	○	○	○																																																												
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																																																													
シンウォール サ ンプルング 軟質な粘性土 (0 ≤ N値 ≤ 4)	本	5																																																													
デニソン サ ンプルング 硬質な粘性土 (4 < N値)	〃	4																																																													
トリプル サ ンプルング 砂質土	〃	3																																																													
職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																																												
人員	0.5	1.0	1.0																																																												
調 査 費	市 場 単 価																																																														
	機	労	材																																																												
サウンディング 及び原位置試験	○	○	○																																																												

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																																																		
<p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表 2.3.1 サウンディング及び原位置試験の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>軟岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">孔内水平載荷試験</td> <td>普通載荷 (2.5MN/m²以下) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷 (2.5~10MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷 (10~20MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験</td> <td>オーガー法 GL-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 GL-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>一重管式 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>揚水法 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン式サウンディング</td> <td>GL-10m以内 N値4以内</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オランダ式二重管コーン貫入試験</td> <td>20kN GL-30m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>100kN GL-30m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポータブルコーン貫入試験</td> <td>単管式 GL-5m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-5m以内</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>3. 補正係数の設定</p> <p>表 2.3.2 現場透水試験の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補正の区分</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験 ケーシング法</td> <td>GL-10m以内</td> <td>K1</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>GL-20m以内</td> <td>K2</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>GL-30m以内</td> <td>K3</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>GL-40m以内</td> <td>K4</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>GL-50m以内</td> <td>K5</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場透水試験 二重管式</td> <td>GL-20m以内</td> <td>K6</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>GL-40m以内</td> <td>K7</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場透水試験 揚水法</td> <td>GL-20m以内</td> <td>K8</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>GL-40m以内</td> <td>K9</td> <td>1.15</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 直接調査費の算出 直接調査費＝設計単価×設計数量 設計単価＝標準の市場単価×(K1~K9)</p> <p>2-3-4 適用に当たっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 孔内水平載荷試験における普通載荷及び中圧載荷は、測定器がプレシオメーター、LLT及びKKTを標準とする。土研式を使用する場合は、別途計上する。 サウンディング及び原位置試験に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。 現場透水試験は、資料整理（内業）を含むものとする。 現場透水試験は、孔内洗浄を含むものとする。 	種 別	規 格	単 位	標準貫入試験	粘性土・シルト	回	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	軟岩	〃	孔内水平載荷試験	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃	中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃	高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃	現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃	ケーシング法 GL-10m以内	〃	一重管式 GL-20m以内	〃	二重管式 GL-20m以内	〃	揚水法 GL-20m以内	〃	スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m	オランダ式二重管コーン貫入試験	20kN GL-30m以内	〃	100kN GL-30m以内	〃	ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃	二重管式 GL-5m以内	〃	補正の区分	適用基準	記号	補正係数	現場透水試験 ケーシング法	GL-10m以内	K1	1.00	GL-20m以内	K2	1.10	GL-30m以内	K3	1.15	GL-40m以内	K4	1.25	GL-50m以内	K5	1.30	現場透水試験 二重管式	GL-20m以内	K6	1.00	GL-40m以内	K7	1.15	現場透水試験 揚水法	GL-20m以内	K8	1.00	GL-40m以内	K9	1.15	<p>4-3-2 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表 4.1 サウンディング及び原位置試験の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>軟岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">孔内水平載荷試験</td> <td>普通載荷 (2.5MN/m²以下) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷 (2.5~10MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷 (10~20MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験</td> <td>オーガー法 GL-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 GL-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>一重管式 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>揚水法 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン式サウンディング</td> <td>GL-10m以内 N値4以内</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オランダ式二重管コーン貫入試験</td> <td>20kN GL-30m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>100kN GL-30m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポータブルコーン貫入試験</td> <td>単管式 GL-5m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-5m以内</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>4-3-3 補正係数の設定</p> <p>表 4.2 現場透水試験の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補正の区分</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験 ケーシング法</td> <td>GL-10m以内</td> <td>K1</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>GL-20m以内</td> <td>K2</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>GL-30m以内</td> <td>K3</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>GL-40m以内</td> <td>K4</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>GL-50m以内</td> <td>K5</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場透水試験 二重管式</td> <td>GL-20m以内</td> <td>K6</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>GL-40m以内</td> <td>K7</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場透水試験 揚水法</td> <td>GL-20m以内</td> <td>K8</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>GL-40m以内</td> <td>K9</td> <td>1.15</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3-4 直接調査費の算出 直接調査費＝設計単価×設計数量 設計単価＝標準の市場単価×(K1~K9)</p> <p>4-4 適用に当たっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 孔内水平載荷試験における普通載荷及び中圧載荷は、測定器がプレシオメーター、LLT及びKKTを標準とする。土研式を使用する場合は、別途計上する。 サウンディング及び原位置試験に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。 現場透水試験は、資料整理（内業）を含むものとする。 現場透水試験は、孔内洗浄を含むものとする。 	種 別	規 格	単 位	標準貫入試験	粘性土・シルト	回	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	軟岩	〃	孔内水平載荷試験	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃	中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃	高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃	現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃	ケーシング法 GL-10m以内	〃	一重管式 GL-20m以内	〃	二重管式 GL-20m以内	〃	揚水法 GL-20m以内	〃	スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m	オランダ式二重管コーン貫入試験	20kN GL-30m以内	〃	100kN GL-30m以内	〃	ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃	二重管式 GL-5m以内	〃	補正の区分	適用基準	記号	補正係数	現場透水試験 ケーシング法	GL-10m以内	K1	1.00	GL-20m以内	K2	1.10	GL-30m以内	K3	1.15	GL-40m以内	K4	1.25	GL-50m以内	K5	1.30	現場透水試験 二重管式	GL-20m以内	K6	1.00	GL-40m以内	K7	1.15	現場透水試験 揚水法	GL-20m以内	K8	1.00	GL-40m以内	K9	1.15	
種 別	規 格	単 位																																																																																																																																																																		
標準貫入試験	粘性土・シルト	回																																																																																																																																																																		
	砂・砂質土	〃																																																																																																																																																																		
	礫混じり土砂	〃																																																																																																																																																																		
	玉石混じり土砂	〃																																																																																																																																																																		
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																																																																																																																		
	軟岩	〃																																																																																																																																																																		
孔内水平載荷試験	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃																																																																																																																																																																		
	中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃																																																																																																																																																																		
	高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃																																																																																																																																																																		
現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃																																																																																																																																																																		
	ケーシング法 GL-10m以内	〃																																																																																																																																																																		
	一重管式 GL-20m以内	〃																																																																																																																																																																		
	二重管式 GL-20m以内	〃																																																																																																																																																																		
	揚水法 GL-20m以内	〃																																																																																																																																																																		
スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m																																																																																																																																																																		
オランダ式二重管コーン貫入試験	20kN GL-30m以内	〃																																																																																																																																																																		
	100kN GL-30m以内	〃																																																																																																																																																																		
ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃																																																																																																																																																																		
	二重管式 GL-5m以内	〃																																																																																																																																																																		
補正の区分	適用基準	記号	補正係数																																																																																																																																																																	
現場透水試験 ケーシング法	GL-10m以内	K1	1.00																																																																																																																																																																	
	GL-20m以内	K2	1.10																																																																																																																																																																	
	GL-30m以内	K3	1.15																																																																																																																																																																	
	GL-40m以内	K4	1.25																																																																																																																																																																	
	GL-50m以内	K5	1.30																																																																																																																																																																	
現場透水試験 二重管式	GL-20m以内	K6	1.00																																																																																																																																																																	
	GL-40m以内	K7	1.15																																																																																																																																																																	
現場透水試験 揚水法	GL-20m以内	K8	1.00																																																																																																																																																																	
	GL-40m以内	K9	1.15																																																																																																																																																																	
種 別	規 格	単 位																																																																																																																																																																		
標準貫入試験	粘性土・シルト	回																																																																																																																																																																		
	砂・砂質土	〃																																																																																																																																																																		
	礫混じり土砂	〃																																																																																																																																																																		
	玉石混じり土砂	〃																																																																																																																																																																		
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																																																																																																																		
	軟岩	〃																																																																																																																																																																		
孔内水平載荷試験	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃																																																																																																																																																																		
	中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃																																																																																																																																																																		
	高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃																																																																																																																																																																		
現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃																																																																																																																																																																		
	ケーシング法 GL-10m以内	〃																																																																																																																																																																		
	一重管式 GL-20m以内	〃																																																																																																																																																																		
	二重管式 GL-20m以内	〃																																																																																																																																																																		
	揚水法 GL-20m以内	〃																																																																																																																																																																		
スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m																																																																																																																																																																		
オランダ式二重管コーン貫入試験	20kN GL-30m以内	〃																																																																																																																																																																		
	100kN GL-30m以内	〃																																																																																																																																																																		
ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃																																																																																																																																																																		
	二重管式 GL-5m以内	〃																																																																																																																																																																		
補正の区分	適用基準	記号	補正係数																																																																																																																																																																	
現場透水試験 ケーシング法	GL-10m以内	K1	1.00																																																																																																																																																																	
	GL-20m以内	K2	1.10																																																																																																																																																																	
	GL-30m以内	K3	1.15																																																																																																																																																																	
	GL-40m以内	K4	1.25																																																																																																																																																																	
	GL-50m以内	K5	1.30																																																																																																																																																																	
現場透水試験 二重管式	GL-20m以内	K6	1.00																																																																																																																																																																	
	GL-40m以内	K7	1.15																																																																																																																																																																	
現場透水試験 揚水法	GL-20m以内	K8	1.00																																																																																																																																																																	
	GL-40m以内	K9	1.15																																																																																																																																																																	

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																														
<p>2-3-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表 2.3.3 サウンディング及び原位置試験の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回 12.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃 10.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃 8.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>軟岩</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>孔内水平載荷試験</td> <td>普通載荷 (2.5MN/m²以下) GL-50m以内</td> <td>〃 3.0</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷 (2.5~10MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷 (10~20MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験</td> <td>オーガー法 GL-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 GL-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>一重管式 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>揚水法 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン式サウンディング</td> <td>GL-10m以内 N値4以内</td> <td>m 22.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オランダ式二重管コーン貫入試験</td> <td>20kN GL-30m以内</td> <td>〃 12.0</td> </tr> <tr> <td>100kN GL-30m以内</td> <td>〃 11.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポータブルコーン貫入試験</td> <td>単管式 GL-5m以内</td> <td>〃 25.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-5m以内</td> <td>〃 15.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>工期算定等にあたっては、作業条件による補正は行わない。</p>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0	砂・砂質土	〃 10.0	礫混じり土砂	〃 8.0	玉石混じり土砂	〃 7.0	固結シルト・固結粘土	〃 7.0	軟岩	〃 7.0	孔内水平載荷試験	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃 3.0	中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0	高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0	現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃 2.0	ケーシング法 GL-10m以内	〃 2.0	一重管式 GL-20m以内	〃 1.0	二重管式 GL-20m以内	〃 1.0	揚水法 GL-20m以内	〃 1.0	スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m 22.0	オランダ式二重管コーン貫入試験	20kN GL-30m以内	〃 12.0	100kN GL-30m以内	〃 11.0	ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃 25.0	二重管式 GL-5m以内	〃 15.0	<p>4-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表 4.3 サウンディング及び原位置試験の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回 12.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃 10.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃 8.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>軟岩</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>孔内水平載荷試験</td> <td>普通載荷 (2.5MN/m²以下) GL-50m以内</td> <td>〃 3.0</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷 (2.5~10MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷 (10~20MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験</td> <td>オーガー法 GL-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 GL-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>一重管式 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>揚水法 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン式サウンディング</td> <td>GL-10m以内 N値4以内</td> <td>m 22.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オランダ式二重管コーン貫入試験</td> <td>20kN GL-30m以内</td> <td>〃 12.0</td> </tr> <tr> <td>100kN GL-30m以内</td> <td>〃 11.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポータブルコーン貫入試験</td> <td>単管式 GL-5m以内</td> <td>〃 25.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-5m以内</td> <td>〃 15.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>工期算定等にあたっては、作業条件による補正は行わない。</p>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0	砂・砂質土	〃 10.0	礫混じり土砂	〃 8.0	玉石混じり土砂	〃 7.0	固結シルト・固結粘土	〃 7.0	軟岩	〃 7.0	孔内水平載荷試験	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃 3.0	中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0	高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0	現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃 2.0	ケーシング法 GL-10m以内	〃 2.0	一重管式 GL-20m以内	〃 1.0	二重管式 GL-20m以内	〃 1.0	揚水法 GL-20m以内	〃 1.0	スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m 22.0	オランダ式二重管コーン貫入試験	20kN GL-30m以内	〃 12.0	100kN GL-30m以内	〃 11.0	ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃 25.0	二重管式 GL-5m以内	〃 15.0	
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																																																																																														
標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0																																																																																														
	砂・砂質土	〃 10.0																																																																																														
	礫混じり土砂	〃 8.0																																																																																														
	玉石混じり土砂	〃 7.0																																																																																														
	固結シルト・固結粘土	〃 7.0																																																																																														
	軟岩	〃 7.0																																																																																														
	孔内水平載荷試験	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃 3.0																																																																																													
中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0																																																																																															
高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0																																																																																															
現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃 2.0																																																																																														
	ケーシング法 GL-10m以内	〃 2.0																																																																																														
	一重管式 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
	二重管式 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
	揚水法 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m 22.0																																																																																														
オランダ式二重管コーン貫入試験	20kN GL-30m以内	〃 12.0																																																																																														
	100kN GL-30m以内	〃 11.0																																																																																														
ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃 25.0																																																																																														
	二重管式 GL-5m以内	〃 15.0																																																																																														
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																																																																																														
標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0																																																																																														
	砂・砂質土	〃 10.0																																																																																														
	礫混じり土砂	〃 8.0																																																																																														
	玉石混じり土砂	〃 7.0																																																																																														
	固結シルト・固結粘土	〃 7.0																																																																																														
	軟岩	〃 7.0																																																																																														
	孔内水平載荷試験	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃 3.0																																																																																													
中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0																																																																																															
高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0																																																																																															
現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃 2.0																																																																																														
	ケーシング法 GL-10m以内	〃 2.0																																																																																														
	一重管式 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
	二重管式 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
	揚水法 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m 22.0																																																																																														
オランダ式二重管コーン貫入試験	20kN GL-30m以内	〃 12.0																																																																																														
	100kN GL-30m以内	〃 11.0																																																																																														
ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃 25.0																																																																																														
	二重管式 GL-5m以内	〃 15.0																																																																																														
<p>2-4 現場内小運搬</p> <p>現場内小運搬は、ボーリングマシン並びに各種原位置試験用器材をトラック又はライトバン等より降した地点から、順次調査地点へと移動して、調査終了後にトラック又はライトバンに積み込む地点までの運搬費である。(運搬に付随する積み込み、積み降ろしを含む。なお、トラック又はライトバン等による資機材運搬、人員輸送は別途計上する。)</p> <p>小運搬の積算にあたっては、下表を参考に現地の条件にあった運搬方法を選ぶものとする。なお、搬入路伐採等については、小運搬(人肩、クローラ、モノレール、索道)に際し、立木伐採や下草刈り等が必要な場合に適用するものとし、その際は、2-6「その他間接調査費」の「搬入路伐採等」の単価を適用する。</p> <p>表 2.4.1 小運搬方法一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運搬方法</th> <th>運搬距離</th> <th>地 形</th> <th>運搬効率</th> <th>特 長</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 肩</td> <td>短距離に適用</td> <td>緩傾斜地</td> <td>極めて不良</td> <td>条件を選ばないが、低能率(最低でも歩道程度は必要である。)</td> <td>原則として、特装車等が活用できない場合に適用する。(例:幅50cm以下)</td> </tr> <tr> <td>特装車(クローラ)</td> <td>短~中距離に適用</td> <td>急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)</td> <td>良 好</td> <td>道路がなくても可能、大量輸送が可能。</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>モノレール</td> <td>短~中距離に適用</td> <td>傾斜地 急傾斜地 急峻地</td> <td>良 好</td> <td>既存の運搬路が無い場合に有利である。</td> <td>---</td> </tr> </tbody> </table>	運搬方法	運搬距離	地 形	運搬効率	特 長	備 考	人 肩	短距離に適用	緩傾斜地	極めて不良	条件を選ばないが、低能率(最低でも歩道程度は必要である。)	原則として、特装車等が活用できない場合に適用する。(例:幅50cm以下)	特装車(クローラ)	短~中距離に適用	急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)	良 好	道路がなくても可能、大量輸送が可能。	---	モノレール	短~中距離に適用	傾斜地 急傾斜地 急峻地	良 好	既存の運搬路が無い場合に有利である。	---	<p>第5節 現場内小運搬</p> <p>現場内小運搬は、ボーリングマシン並びに各種原位置試験用器材をトラック又はライトバン等より降した地点から、順次調査地点へと移動して、調査終了後にトラック又はライトバンに積み込む地点までの運搬費である。(運搬に付随する積み込み、積み降ろしを含む。)</p> <p>小運搬の積算にあたっては、下表を参考に現地の条件にあった運搬方法を選ぶものとする。なお、搬入路伐採等については、小運搬(人肩、クローラ、モノレール、索道)に際し、立木伐採や下草刈り等が必要な場合に適用するものとし、その際は、第7節「その他間接調査費」の「搬入路伐採等」の単価を適用する。</p> <p>表 5.1 小運搬方法一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運搬方法</th> <th>運搬距離</th> <th>地 形</th> <th>運搬効率</th> <th>特 長</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 肩</td> <td>短距離に適用</td> <td>緩傾斜地</td> <td>極めて不良</td> <td>条件を選ばないが、低能率(最低でも歩道程度は必要である。)</td> <td>原則として、特装車等が活用できない場合に適用する。(例:幅50cm以下)</td> </tr> <tr> <td>特装車(クローラ)</td> <td>短~中距離に適用</td> <td>急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)</td> <td>良 好</td> <td>道路がなくても可能、大量輸送が可能。</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>モノレール</td> <td>短~中距離に適用</td> <td>傾斜地 急傾斜地 急峻地</td> <td>良 好</td> <td>既存の運搬路が無い場合に有利である。</td> <td>---</td> </tr> </tbody> </table>	運搬方法	運搬距離	地 形	運搬効率	特 長	備 考	人 肩	短距離に適用	緩傾斜地	極めて不良	条件を選ばないが、低能率(最低でも歩道程度は必要である。)	原則として、特装車等が活用できない場合に適用する。(例:幅50cm以下)	特装車(クローラ)	短~中距離に適用	急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)	良 好	道路がなくても可能、大量輸送が可能。	---	モノレール	短~中距離に適用	傾斜地 急傾斜地 急峻地	良 好	既存の運搬路が無い場合に有利である。	---																																															
運搬方法	運搬距離	地 形	運搬効率	特 長	備 考																																																																																											
人 肩	短距離に適用	緩傾斜地	極めて不良	条件を選ばないが、低能率(最低でも歩道程度は必要である。)	原則として、特装車等が活用できない場合に適用する。(例:幅50cm以下)																																																																																											
特装車(クローラ)	短~中距離に適用	急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)	良 好	道路がなくても可能、大量輸送が可能。	---																																																																																											
モノレール	短~中距離に適用	傾斜地 急傾斜地 急峻地	良 好	既存の運搬路が無い場合に有利である。	---																																																																																											
運搬方法	運搬距離	地 形	運搬効率	特 長	備 考																																																																																											
人 肩	短距離に適用	緩傾斜地	極めて不良	条件を選ばないが、低能率(最低でも歩道程度は必要である。)	原則として、特装車等が活用できない場合に適用する。(例:幅50cm以下)																																																																																											
特装車(クローラ)	短~中距離に適用	急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)	良 好	道路がなくても可能、大量輸送が可能。	---																																																																																											
モノレール	短~中距離に適用	傾斜地 急傾斜地 急峻地	良 好	既存の運搬路が無い場合に有利である。	---																																																																																											

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 10%;">索道 (ケーブル クレーン)</td> <td style="width: 15%;">短～中距離 に適用</td> <td style="width: 15%;">急傾斜地 急峻地</td> <td style="width: 10%;">良 好</td> <td style="width: 50%;">河川、谷、崖を越える 場合に有利である。</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table> <p>2-4-1 適用範囲 現場内小運搬は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 現場内小運搬のうち、人肩運搬、特装車運搬（クローラ）、モノレール運搬、索道運搬するもの。</p> <p>2-4-2 編成人員 滞在費を算出するための現場内小運搬1回当たりの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <th style="width: 10%;">職 種</th> <th style="width: 20%;">主任地質調査員</th> <th style="width: 20%;">地質調査員</th> </tr> <tr> <td>人 肩</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td>特 装 車</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td>モノレール</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>索 道</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> </table> <p>2-4-3 市場単価の設定</p> <p>1. 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">調 査 費</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">市場単価</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">機</th> <th style="width: 10%;">労</th> <th style="width: 10%;">材</th> </tr> <tr> <td>現場内小運搬</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">機材搬入</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">足場仮設置</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">せん孔</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">サンプリング</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">サウンディング 及び原位置試験</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">足場仮撤去</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">機材搬出</div> </div> <p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表 2.4.2 現場内小運搬の規格区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">種 別</th> <th style="width: 60%;">規 格</th> <th style="width: 25%;">単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">人肩運搬</td> <td>50m以下 総運搬距離</td> <td style="text-align: center;">t</td> </tr> <tr> <td>50m超100m以下 "</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">特装車運搬（クローラ）</td> <td>100m以下 総運搬距離</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下 "</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下 "</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">モノレール運搬</td> <td>100m以下 設置距離</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下 "</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下 "</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> </tbody> </table>	索道 (ケーブル クレーン)	短～中距離 に適用	急傾斜地 急峻地	良 好	河川、谷、崖を越える 場合に有利である。	—	職 種	主任地質調査員	地質調査員	人 肩	0.5	1.0	特 装 車	0.5	1.0	モノレール		0.5	索 道		0.5	調 査 費	市場単価			機	労	材	現場内小運搬	○	○	×	種 別	規 格	単 位	人肩運搬	50m以下 総運搬距離	t	50m超100m以下 "	"	特装車運搬（クローラ）	100m以下 総運搬距離	"	100m超500m以下 "	"	500m超1000m以下 "	"	モノレール運搬	100m以下 設置距離	"	100m超500m以下 "	"	500m超1000m以下 "	"	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 10%;">索道 (ケーブル クレーン)</td> <td style="width: 15%;">短～中距離 に適用</td> <td style="width: 15%;">急傾斜地 急峻地</td> <td style="width: 10%;">良 好</td> <td style="width: 50%;">河川、谷、崖を越える 場合に有利である。</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table> <p>5-1 適用範囲 現場内小運搬は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>5-1-1 市場単価が適用できる範囲 現場内小運搬のうち、人肩運搬、特装車運搬（クローラ）、モノレール運搬、索道運搬するもの。</p> <p>5-2 編成人員 滞在費を算出するための現場内小運搬1回当たりの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <th style="width: 10%;">職 種</th> <th style="width: 20%;">主任地質調査員</th> <th style="width: 20%;">地質調査員</th> </tr> <tr> <td>人 肩</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td>特 装 車</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td>モノレール</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>索 道</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> </table> <p>5-3 市場単価の設定</p> <p>5-3-1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <th style="width: 15%;">調 査 費</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">市場単価</th> </tr> <tr> <td></td> <th style="width: 10%;">機</th> <th style="width: 10%;">労</th> <th style="width: 10%;">材</th> </tr> <tr> <td>現場内小運搬</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">機材搬入</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">足場仮設置</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">せん孔</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">サンプリング</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">サウンディング 及び原位置試験</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">足場仮撤去</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">機材搬出</div> </div> <p>5-3-2 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表 5.2 現場内小運搬の規格区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">種 別</th> <th style="width: 60%;">規 格</th> <th style="width: 25%;">単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">人肩運搬</td> <td>50m以下 総運搬距離</td> <td style="text-align: center;">t</td> </tr> <tr> <td>50m超100m以下 "</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">特装車運搬（クローラ）</td> <td>100m以下 総運搬距離</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下 "</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下 "</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">モノレール運搬</td> <td>100m以下 設置距離</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下 "</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下 "</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> </tbody> </table>	索道 (ケーブル クレーン)	短～中距離 に適用	急傾斜地 急峻地	良 好	河川、谷、崖を越える 場合に有利である。	—	職 種	主任地質調査員	地質調査員	人 肩	0.5	1.0	特 装 車	0.5	1.0	モノレール		0.5	索 道		0.5	調 査 費	市場単価				機	労	材	現場内小運搬	○	○	×	種 別	規 格	単 位	人肩運搬	50m以下 総運搬距離	t	50m超100m以下 "	"	特装車運搬（クローラ）	100m以下 総運搬距離	"	100m超500m以下 "	"	500m超1000m以下 "	"	モノレール運搬	100m以下 設置距離	"	100m超500m以下 "	"	500m超1000m以下 "	"	
索道 (ケーブル クレーン)	短～中距離 に適用	急傾斜地 急峻地	良 好	河川、谷、崖を越える 場合に有利である。	—																																																																																																										
職 種	主任地質調査員	地質調査員																																																																																																													
人 肩	0.5	1.0																																																																																																													
特 装 車	0.5	1.0																																																																																																													
モノレール		0.5																																																																																																													
索 道		0.5																																																																																																													
調 査 費	市場単価																																																																																																														
	機	労	材																																																																																																												
現場内小運搬	○	○	×																																																																																																												
種 別	規 格	単 位																																																																																																													
人肩運搬	50m以下 総運搬距離	t																																																																																																													
	50m超100m以下 "	"																																																																																																													
特装車運搬（クローラ）	100m以下 総運搬距離	"																																																																																																													
	100m超500m以下 "	"																																																																																																													
	500m超1000m以下 "	"																																																																																																													
モノレール運搬	100m以下 設置距離	"																																																																																																													
	100m超500m以下 "	"																																																																																																													
	500m超1000m以下 "	"																																																																																																													
索道 (ケーブル クレーン)	短～中距離 に適用	急傾斜地 急峻地	良 好	河川、谷、崖を越える 場合に有利である。	—																																																																																																										
職 種	主任地質調査員	地質調査員																																																																																																													
人 肩	0.5	1.0																																																																																																													
特 装 車	0.5	1.0																																																																																																													
モノレール		0.5																																																																																																													
索 道		0.5																																																																																																													
調 査 費	市場単価																																																																																																														
	機	労	材																																																																																																												
現場内小運搬	○	○	×																																																																																																												
種 別	規 格	単 位																																																																																																													
人肩運搬	50m以下 総運搬距離	t																																																																																																													
	50m超100m以下 "	"																																																																																																													
特装車運搬（クローラ）	100m以下 総運搬距離	"																																																																																																													
	100m超500m以下 "	"																																																																																																													
	500m超1000m以下 "	"																																																																																																													
モノレール運搬	100m以下 設置距離	"																																																																																																													
	100m超500m以下 "	"																																																																																																													
	500m超1000m以下 "	"																																																																																																													

(H27)

改 定	現 行	備 考																				
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">索道運搬</td> <td style="text-align: center;">100m以下</td> <td style="text-align: center;">設置距離</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100m超500m以下</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">500m超1000m以下</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p>	索道運搬	100m以下	設置距離	〃	100m超500m以下	〃	〃	500m超1000m以下	〃	〃	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">索道運搬</td> <td style="text-align: center;">100m以下</td> <td style="text-align: center;">設置距離</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100m超500m以下</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">500m超1000m以下</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p>	索道運搬	100m以下	設置距離	〃	100m超500m以下	〃	〃	500m超1000m以下	〃	〃	
索道運搬		100m以下	設置距離	〃																		
		100m超500m以下	〃	〃																		
	500m超1000m以下	〃	〃																			
索道運搬	100m以下	設置距離	〃																			
	100m超500m以下	〃	〃																			
	500m超1000m以下	〃	〃																			

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																						
<p>表 2. 4. 3 現場内小運搬における架設・撤去の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">モノレール運搬</td> <td>100m以下</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>100m以下</td> <td>吊下げ荷重1t 〃</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>表 2. 4. 4 現場内小運搬における機械器具損料の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">モノレール運搬</td> <td>100m以下</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>100m以下</td> <td>吊下げ荷重1t 〃</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>3. 補正係数の設定</p> <p>表 2. 4. 5 標高差における距離の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小運搬方法</th> <th>補正值</th> <th>換算距離の計算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人肩運搬</td> <td>5</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> <tr> <td>特装車運搬(クローラ)</td> <td>3</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> </tbody> </table> <p>標高差は1m単位とする。</p> <p>4. 間接調査費の算出 (人肩運搬, 特装車運搬) 間接調査費＝設計単価×運搬総重量 設計単価＝標準の市場単価(換算距離別)</p> <p>(モノレール運搬, 索道運搬) 間接調査費＝設計単価(運搬)×運搬総重量＋設計単価(架設・撤去) ＋設計単価(機械器具損料)×供用日数 設計単価＝標準の市場単価 ただし、機械器具損料は特別調査により別途計上する。 供用日数＝架設日数＋調査・試験等作業日数＋撤去日数</p> <p>2-4-4 適用に当たっての留意事項 現場内の各小運搬方法に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。</p>	種 別	規 格	単 位	モノレール運搬	100m以下	箇所	100m超500m以下	〃	500m超1000m以下	〃	索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃	100m超500m以下	〃 〃	500m超1000m以下	〃 〃	種 別	規 格	単 位	モノレール運搬	100m以下	日	100m超500m以下	〃	500m超1000m以下	〃	索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃	100m超500m以下	〃 〃	500m超1000m以下	〃 〃	小運搬方法	補正值	換算距離の計算	人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值	特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值	<p>表 5. 3 現場内小運搬における架設・撤去の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">モノレール運搬</td> <td>100m以下</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>100m以下</td> <td>吊下げ荷重1t 〃</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>表 5. 4 現場内小運搬における機械器具損料の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">モノレール運搬</td> <td>100m以下</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>100m以下</td> <td>吊下げ荷重1t 〃</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>5-3-3 補正係数の設定</p> <p>表 5. 5 標高差における距離の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小運搬方法</th> <th>補正值</th> <th>換算距離の計算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人肩運搬</td> <td>5</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> <tr> <td>特装車運搬(クローラ)</td> <td>3</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> </tbody> </table> <p>標高差は1m単位とする。</p> <p>5-3-4 間接調査費の算出 (人肩運搬, 特装車運搬) 間接調査費＝設計単価×運搬総重量 設計単価＝標準の市場単価(換算距離別)</p> <p>(モノレール運搬, 索道運搬) 間接調査費＝設計単価(運搬)×運搬総重量＋設計単価(架設・撤去) ＋設計単価(機械器具損料)×供用日数 設計単価＝標準の市場単価 ただし、機械器具損料は特別調査により別途計上する。 供用日数＝架設日数＋調査・試験等作業日数＋撤去日数</p> <p>5-4 適用に当たっての留意事項 現場内の各小運搬方法に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。</p>	種 別	規 格	単 位	モノレール運搬	100m以下	箇所	100m超500m以下	〃	500m超1000m以下	〃	索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃	100m超500m以下	〃 〃	500m超1000m以下	〃 〃	種 別	規 格	単 位	モノレール運搬	100m以下	日	100m超500m以下	〃	500m超1000m以下	〃	索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃	100m超500m以下	〃 〃	500m超1000m以下	〃 〃	小運搬方法	補正值	換算距離の計算	人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值	特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值	
種 別	規 格	単 位																																																																																						
モノレール運搬	100m以下	箇所																																																																																						
	100m超500m以下	〃																																																																																						
	500m超1000m以下	〃																																																																																						
索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃																																																																																						
	100m超500m以下	〃 〃																																																																																						
	500m超1000m以下	〃 〃																																																																																						
種 別	規 格	単 位																																																																																						
モノレール運搬	100m以下	日																																																																																						
	100m超500m以下	〃																																																																																						
	500m超1000m以下	〃																																																																																						
索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃																																																																																						
	100m超500m以下	〃 〃																																																																																						
	500m超1000m以下	〃 〃																																																																																						
小運搬方法	補正值	換算距離の計算																																																																																						
人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																						
特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																						
種 別	規 格	単 位																																																																																						
モノレール運搬	100m以下	箇所																																																																																						
	100m超500m以下	〃																																																																																						
	500m超1000m以下	〃																																																																																						
索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃																																																																																						
	100m超500m以下	〃 〃																																																																																						
	500m超1000m以下	〃 〃																																																																																						
種 別	規 格	単 位																																																																																						
モノレール運搬	100m以下	日																																																																																						
	100m超500m以下	〃																																																																																						
	500m超1000m以下	〃																																																																																						
索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃																																																																																						
	100m超500m以下	〃 〃																																																																																						
	500m超1000m以下	〃 〃																																																																																						
小運搬方法	補正值	換算距離の計算																																																																																						
人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																						
特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																						

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																										
<p>2-4-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表 2.4.6 現場内小運搬の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 た り 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人肩運搬</td> <td>50m以下</td> <td>t 5</td> </tr> <tr> <td>50m超100m以下</td> <td>〃 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">特装車運搬(クローラ)</td> <td>100m以下</td> <td>〃 5</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 3</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">モノレール運搬</td> <td>100m以下</td> <td>〃 5</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 4</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>100m以下</td> <td>〃 5</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 4</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 3</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.4.7 現場内小運搬における架設の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 た り 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">モノレール運搬</td> <td>100m以下</td> <td>箇所 0.44</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 0.14</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 0.077</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>100m以下</td> <td>〃 0.41</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 0.19</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 0.11</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.4.8 現場内小運搬における撤去の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 た り 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">モノレール運搬</td> <td>100m以下</td> <td>箇所 0.57</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 0.38</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 0.10</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>100m以下</td> <td>〃 0.65</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 0.23</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 0.13</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-5 足場仮設</p> <p>2-5-1 適用範囲 足場仮設は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 足場仮設のうち、平坦地足場、湿地足場、傾斜地足場、水上足場に適用する。</p> <p>2-5-2 編成人員 滞在費を算出するための足場仮設の編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人員</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量	人肩運搬	50m以下	t 5	50m超100m以下	〃 2	特装車運搬(クローラ)	100m以下	〃 5	100m超500m以下	〃 3	500m超1000m以下	〃 2	モノレール運搬	100m以下	〃 5	100m超500m以下	〃 4	500m超1000m以下	〃 3	索道運搬	100m以下	〃 5	100m超500m以下	〃 4	500m超1000m以下	〃 3	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量	モノレール運搬	100m以下	箇所 0.44	100m超500m以下	〃 0.14	500m超1000m以下	〃 0.077	索道運搬	100m以下	〃 0.41	100m超500m以下	〃 0.19	500m超1000m以下	〃 0.11	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量	モノレール運搬	100m以下	箇所 0.57	100m超500m以下	〃 0.38	500m超1000m以下	〃 0.10	索道運搬	100m以下	〃 0.65	100m超500m以下	〃 0.23	500m超1000m以下	〃 0.13	職種	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0	<p>5-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表 5.6 現場内小運搬の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 た り 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人肩運搬</td> <td>50m以下</td> <td>t 5</td> </tr> <tr> <td>50m超100m以下</td> <td>〃 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">特装車運搬(クローラ)</td> <td>100m以下</td> <td>〃 5</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 3</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">モノレール運搬</td> <td>100m以下</td> <td>〃 5</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 4</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>100m以下</td> <td>〃 5</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 4</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 3</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 5.7 現場内小運搬における架設の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 た り 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">モノレール運搬</td> <td>100m以下</td> <td>箇所 0.44</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 0.14</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 0.077</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>100m以下</td> <td>〃 0.41</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 0.19</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 0.11</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 5.8 現場内小運搬における撤去の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 た り 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">モノレール運搬</td> <td>100m以下</td> <td>箇所 0.57</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 0.38</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 0.10</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>100m以下</td> <td>〃 0.65</td> </tr> <tr> <td>100m超500m以下</td> <td>〃 0.23</td> </tr> <tr> <td>500m超1000m以下</td> <td>〃 0.13</td> </tr> </tbody> </table> <p>第6節 足場仮設</p> <p>6-1 適用範囲 足場仮設は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>6-1-1 市場単価が適用できる範囲 足場仮設のうち、平坦地足場、湿地足場、傾斜地足場、水上足場に適用する。</p> <p>6-2 編成人員 滞在費を算出するための足場仮設の編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人員</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量	人肩運搬	50m以下	t 5	50m超100m以下	〃 2	特装車運搬(クローラ)	100m以下	〃 5	100m超500m以下	〃 3	500m超1000m以下	〃 2	モノレール運搬	100m以下	〃 5	100m超500m以下	〃 4	500m超1000m以下	〃 3	索道運搬	100m以下	〃 5	100m超500m以下	〃 4	500m超1000m以下	〃 3	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量	モノレール運搬	100m以下	箇所 0.44	100m超500m以下	〃 0.14	500m超1000m以下	〃 0.077	索道運搬	100m以下	〃 0.41	100m超500m以下	〃 0.19	500m超1000m以下	〃 0.11	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量	モノレール運搬	100m以下	箇所 0.57	100m超500m以下	〃 0.38	500m超1000m以下	〃 0.10	索道運搬	100m以下	〃 0.65	100m超500m以下	〃 0.23	500m超1000m以下	〃 0.13	職種	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0	
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量																																																																																																																																										
人肩運搬	50m以下	t 5																																																																																																																																										
	50m超100m以下	〃 2																																																																																																																																										
特装車運搬(クローラ)	100m以下	〃 5																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 3																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 2																																																																																																																																										
モノレール運搬	100m以下	〃 5																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 4																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 3																																																																																																																																										
索道運搬	100m以下	〃 5																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 4																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 3																																																																																																																																										
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量																																																																																																																																										
モノレール運搬	100m以下	箇所 0.44																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 0.14																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 0.077																																																																																																																																										
索道運搬	100m以下	〃 0.41																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 0.19																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 0.11																																																																																																																																										
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量																																																																																																																																										
モノレール運搬	100m以下	箇所 0.57																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 0.38																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 0.10																																																																																																																																										
索道運搬	100m以下	〃 0.65																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 0.23																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 0.13																																																																																																																																										
職種	主任地質調査員	地質調査員																																																																																																																																										
人員	0.5	1.0																																																																																																																																										
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量																																																																																																																																										
人肩運搬	50m以下	t 5																																																																																																																																										
	50m超100m以下	〃 2																																																																																																																																										
特装車運搬(クローラ)	100m以下	〃 5																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 3																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 2																																																																																																																																										
モノレール運搬	100m以下	〃 5																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 4																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 3																																																																																																																																										
索道運搬	100m以下	〃 5																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 4																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 3																																																																																																																																										
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量																																																																																																																																										
モノレール運搬	100m以下	箇所 0.44																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 0.14																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 0.077																																																																																																																																										
索道運搬	100m以下	〃 0.41																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 0.19																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 0.11																																																																																																																																										
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 た り 作 業 量																																																																																																																																										
モノレール運搬	100m以下	箇所 0.57																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 0.38																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 0.10																																																																																																																																										
索道運搬	100m以下	〃 0.65																																																																																																																																										
	100m超500m以下	〃 0.23																																																																																																																																										
	500m超1000m以下	〃 0.13																																																																																																																																										
職種	主任地質調査員	地質調査員																																																																																																																																										
人員	0.5	1.0																																																																																																																																										

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																																												
<p>2-5-3 市場単価の設定 1. 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">調 査 費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>足場仮設</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">機材搬入</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">現場内小運搬</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">足場仮設設置</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">間接調査費</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">せん孔</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">サンプリング</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">及び原位置試験</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">サウンディング</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">間接調査費</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">足場仮設撤去</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">現場内小運搬</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">機材搬出</td> </tr> </table> </div> <p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表 2.5.1 足場仮設の規格区分</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平坦地足場</td> <td></td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>湿地足場</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">傾斜地足場</td> <td>地形傾斜 15°以上～30°未満</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜 30°以上～45°未満</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜 45°以上～60°</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水上足場</td> <td>水深 1 m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水深 3 m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水深 5 m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水深 10 m以下</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>3. 補正係数の設定</p> <p>表 2.5.2 足場仮設におけるボーリング深度の補正係数</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>足場の区分</th> <th>50m以下</th> <th>50 m 超 80 m 以下</th> <th>80 m 超 120 m 以下</th> <th>120m超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td>K1</td> <td>K2</td> <td>K3</td> <td>K4</td> </tr> <tr> <td>平坦地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>湿地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>傾斜地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>水上足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 間接調査費の算出 間接調査費＝設計単価×設計数量 設計単価＝標準の市場単価×（K1～K4）</p>	調 査 費	市場単価			機	労	材	足場仮設	○	○	○	機材搬入	現場内小運搬	足場仮設設置	間接調査費	せん孔	サンプリング	及び原位置試験	サウンディング	間接調査費	足場仮設撤去	現場内小運搬	機材搬出	種 別	規 格	単 位	平坦地足場		箇所	湿地足場		〃	傾斜地足場	地形傾斜 15°以上～30°未満	〃	地形傾斜 30°以上～45°未満	〃	地形傾斜 45°以上～60°	〃	水上足場	水深 1 m以下	〃	水深 3 m以下	〃	水深 5 m以下	〃	水深 10 m以下	〃	足場の区分	50m以下	50 m 超 80 m 以下	80 m 超 120 m 以下	120m超	記号	K1	K2	K3	K4	平坦地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	湿地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	傾斜地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	水上足場	1.00	1.05	1.10	1.20	<p>6-3 市場単価の設定 6-3-1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">調 査 費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>足場仮設</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">機材搬入</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">現場内小運搬</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">足場仮設設置</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">間接調査費</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">せん孔</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">サンプリング</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">及び原位置試験</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">サウンディング</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">間接調査費</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">足場仮設撤去</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">現場内小運搬</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">機材搬出</td> </tr> </table> </div> <p>6-3-2 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表 6.1 足場仮設の規格区分</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平坦地足場</td> <td></td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>湿地足場</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">傾斜地足場</td> <td>地形傾斜 15°以上～30°未満</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜 30°以上～45°未満</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜 45°以上～60°</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水上足場</td> <td>水深 1 m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水深 3 m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水深 5 m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水深 10 m以下</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>6-3-3 補正係数の設定</p> <p>表 6.2 足場仮設におけるボーリング深度の補正係数</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>足場の区分</th> <th>50m以下</th> <th>50 m 超 80 m 以下</th> <th>80 m 超 120 m 以下</th> <th>120m超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td>K1</td> <td>K2</td> <td>K3</td> <td>K4</td> </tr> <tr> <td>平坦地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>湿地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>傾斜地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>水上足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>6-3-4 間接調査費の算出 間接調査費＝設計単価×設計数量 設計単価＝標準の市場単価×（K1～K4）</p>	調 査 費	市場単価			機	労	材	足場仮設	○	○	○	機材搬入	現場内小運搬	足場仮設設置	間接調査費	せん孔	サンプリング	及び原位置試験	サウンディング	間接調査費	足場仮設撤去	現場内小運搬	機材搬出	種 別	規 格	単 位	平坦地足場		箇所	湿地足場		〃	傾斜地足場	地形傾斜 15°以上～30°未満	〃	地形傾斜 30°以上～45°未満	〃	地形傾斜 45°以上～60°	〃	水上足場	水深 1 m以下	〃	水深 3 m以下	〃	水深 5 m以下	〃	水深 10 m以下	〃	足場の区分	50m以下	50 m 超 80 m 以下	80 m 超 120 m 以下	120m超	記号	K1	K2	K3	K4	平坦地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	湿地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	傾斜地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	水上足場	1.00	1.05	1.10	1.20	
調 査 費		市場単価																																																																																																																																																												
	機	労	材																																																																																																																																																											
足場仮設	○	○	○																																																																																																																																																											
機材搬入	現場内小運搬	足場仮設設置	間接調査費	せん孔	サンプリング	及び原位置試験	サウンディング	間接調査費	足場仮設撤去	現場内小運搬	機材搬出																																																																																																																																																			
種 別	規 格	単 位																																																																																																																																																												
平坦地足場		箇所																																																																																																																																																												
湿地足場		〃																																																																																																																																																												
傾斜地足場	地形傾斜 15°以上～30°未満	〃																																																																																																																																																												
	地形傾斜 30°以上～45°未満	〃																																																																																																																																																												
	地形傾斜 45°以上～60°	〃																																																																																																																																																												
水上足場	水深 1 m以下	〃																																																																																																																																																												
	水深 3 m以下	〃																																																																																																																																																												
	水深 5 m以下	〃																																																																																																																																																												
	水深 10 m以下	〃																																																																																																																																																												
足場の区分	50m以下	50 m 超 80 m 以下	80 m 超 120 m 以下	120m超																																																																																																																																																										
記号	K1	K2	K3	K4																																																																																																																																																										
平坦地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																																																										
湿地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																																																										
傾斜地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																																																										
水上足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																																																										
調 査 費	市場単価																																																																																																																																																													
	機	労	材																																																																																																																																																											
足場仮設	○	○	○																																																																																																																																																											
機材搬入	現場内小運搬	足場仮設設置	間接調査費	せん孔	サンプリング	及び原位置試験	サウンディング	間接調査費	足場仮設撤去	現場内小運搬	機材搬出																																																																																																																																																			
種 別	規 格	単 位																																																																																																																																																												
平坦地足場		箇所																																																																																																																																																												
湿地足場		〃																																																																																																																																																												
傾斜地足場	地形傾斜 15°以上～30°未満	〃																																																																																																																																																												
	地形傾斜 30°以上～45°未満	〃																																																																																																																																																												
	地形傾斜 45°以上～60°	〃																																																																																																																																																												
水上足場	水深 1 m以下	〃																																																																																																																																																												
	水深 3 m以下	〃																																																																																																																																																												
	水深 5 m以下	〃																																																																																																																																																												
	水深 10 m以下	〃																																																																																																																																																												
足場の区分	50m以下	50 m 超 80 m 以下	80 m 超 120 m 以下	120m超																																																																																																																																																										
記号	K1	K2	K3	K4																																																																																																																																																										
平坦地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																																																										
湿地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																																																										
傾斜地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																																																										
水上足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																																																										

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																										
<p>2-5-4 適用に当たっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 単価は、ボーリング槽設置撤去、機械分解組立を含むものとする。 水上足場において、ボーリング槽設置撤去のために「とび工」が必要な場合、並びに、水底の地形が傾斜しており、整地のため「潜土工」が必要な場合は、別途計上するものとする。 水上足場は、作業船を含むものとする。 水上足場は、河川・湖沼等波浪の少ない場合とし、海上の場合は、別途計上する。 水上足場設置後に、作業現場までの移動に船外機搭載の船舶等を使用する必要がある場合の移動費用については、別途計上する。 <p>2-5-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表 2.5.3 足場仮設の日当たり作業量（設置・撤去）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平坦地足場</td> <td>箇所</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>湿地足場</td> <td>〃</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">傾斜地足場</td> <td>地形傾斜15°以上～30°未満</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜30°以上～45°未満</td> <td>〃 0.5</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜45°以上～60°</td> <td>〃 0.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水上足場</td> <td>水深1m以下</td> <td>〃 0.5</td> </tr> <tr> <td>水深3m以下</td> <td>〃 0.5</td> </tr> <tr> <td>水深5m以下</td> <td>〃 0.3</td> </tr> <tr> <td>水深10m以下</td> <td>〃 0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-6 その他間接調査費</p> <p>2-6-1 適用範囲 その他間接調査費は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 その他間接調査費は、間接調査費のうち、準備及び跡片付け、搬入路伐採等、環境保全、調査孔閉塞、給水費（ポンプ運転）とする。</p> <p>2-6-2 編成人員 滞在費を算出するためのその他の間接調査費1業務あるいは1箇所当たりの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>職 種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>準備及び跡片付け</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>搬入路伐採等</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全(仮囲い)</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	種 別 ・ 規 格	単 位	日当たり作業量	平坦地足場	箇所	2.0	湿地足場	〃	1.0	傾斜地足場	地形傾斜15°以上～30°未満	〃 1.0	地形傾斜30°以上～45°未満	〃 0.5	地形傾斜45°以上～60°	〃 0.5	水上足場	水深1m以下	〃 0.5	水深3m以下	〃 0.5	水深5m以下	〃 0.3	水深10m以下	〃 0.3	工 種	職 種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員		準備及び跡片付け	1.0	1.0	0.5		搬入路伐採等		0.5	1.0		環境保全(仮囲い)		1.0	1.0	<p>6-4 適用に当たっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 単価は、ボーリング槽設置撤去、機械分解組立を含むものとする。 水上足場において、ボーリング槽設置撤去のために「とび工」が必要な場合、並びに、水底の地形が傾斜しており、整地のため「潜土工」が必要な場合は、別途計上するものとする。 水上足場は、作業船を含むものとする。 水上足場は、河川・湖沼等波浪の少ない場合とし、海上の場合は、別途計上する。 水上足場設置後に、作業現場までの移動に船外機搭載の船舶等を使用する必要がある場合の移動費用については、別途計上する。 <p>6-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表 6.3 足場仮設の日当たり作業量（設置・撤去）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平坦地足場</td> <td>箇所</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>湿地足場</td> <td>〃</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">傾斜地足場</td> <td>地形傾斜15°以上～30°未満</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜30°以上～45°未満</td> <td>〃 0.5</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜45°以上～60°</td> <td>〃 0.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水上足場</td> <td>水深1m以下</td> <td>〃 0.5</td> </tr> <tr> <td>水深3m以下</td> <td>〃 0.5</td> </tr> <tr> <td>水深5m以下</td> <td>〃 0.3</td> </tr> <tr> <td>水深10m以下</td> <td>〃 0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>第7節 その他間接調査費</p> <p>7-1 適用範囲 その他間接調査費は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>7-1-1 市場単価が適用できる範囲 その他間接調査費は、間接調査費のうち、準備及び跡片付け、搬入路伐採等、環境保全、調査孔閉塞、給水費（ポンプ運転）とする。</p> <p>7-2 編成人員 滞在費を算出するためのその他の間接調査費1業務あるいは1箇所当たりの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>職 種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>準備及び跡片付け</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>搬入路伐採等</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全(仮囲い)</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	種 別 ・ 規 格	単 位	日当たり作業量	平坦地足場	箇所	2.0	湿地足場	〃	1.0	傾斜地足場	地形傾斜15°以上～30°未満	〃 1.0	地形傾斜30°以上～45°未満	〃 0.5	地形傾斜45°以上～60°	〃 0.5	水上足場	水深1m以下	〃 0.5	水深3m以下	〃 0.5	水深5m以下	〃 0.3	水深10m以下	〃 0.3	工 種	職 種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員		準備及び跡片付け	1.0	1.0	0.5		搬入路伐採等		0.5	1.0		環境保全(仮囲い)		1.0	1.0	
種 別 ・ 規 格	単 位	日当たり作業量																																																																																										
平坦地足場	箇所	2.0																																																																																										
湿地足場	〃	1.0																																																																																										
傾斜地足場	地形傾斜15°以上～30°未満	〃 1.0																																																																																										
	地形傾斜30°以上～45°未満	〃 0.5																																																																																										
	地形傾斜45°以上～60°	〃 0.5																																																																																										
水上足場	水深1m以下	〃 0.5																																																																																										
	水深3m以下	〃 0.5																																																																																										
	水深5m以下	〃 0.3																																																																																										
	水深10m以下	〃 0.3																																																																																										
工 種	職 種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																																																																								
	準備及び跡片付け	1.0	1.0	0.5																																																																																								
	搬入路伐採等		0.5	1.0																																																																																								
	環境保全(仮囲い)		1.0	1.0																																																																																								
種 別 ・ 規 格	単 位	日当たり作業量																																																																																										
平坦地足場	箇所	2.0																																																																																										
湿地足場	〃	1.0																																																																																										
傾斜地足場	地形傾斜15°以上～30°未満	〃 1.0																																																																																										
	地形傾斜30°以上～45°未満	〃 0.5																																																																																										
	地形傾斜45°以上～60°	〃 0.5																																																																																										
水上足場	水深1m以下	〃 0.5																																																																																										
	水深3m以下	〃 0.5																																																																																										
	水深5m以下	〃 0.3																																																																																										
	水深10m以下	〃 0.3																																																																																										
工 種	職 種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																																																																								
	準備及び跡片付け	1.0	1.0	0.5																																																																																								
	搬入路伐採等		0.5	1.0																																																																																								
	環境保全(仮囲い)		1.0	1.0																																																																																								

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																						
<p>2-6-3 市場単価の設定 1. 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">調 査 費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>その他間接調査費</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表 2.6.1 その他間接調査費の規格区分</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備及び跡片付け</td> <td></td> <td>業務</td> </tr> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td>幅3m以下</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>環境保全</td> <td>仮囲い</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>調査孔閉塞</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>給水費(ポンプ運転)</td> <td>20m以上150m以下</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 補正係数の設定</p> <p>表 2.6.2 その他間接調査費における距離の補正係数</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>補正值</th> <th>換算距離の計算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>換算距離=道路延長+標高差×補正值 標高差は1m単位とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 間接調査費の算出 間接調査費=設計単価×設計数量 但し、搬入路伐採等は、間接調査費=設計単価×換算距離 とする。 設計単価=標準の市場単価</p> <p>2-6-4 適用に当たっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 準備及び跡片付けの単価は、資機材の準備・保管、ボーリング地点の整地・跡片付け、占用許可及び申請手続き、位置出し測量等を含むものとする。 2. 搬入路伐採等は、現場内小運搬で立木伐採や下草刈り等が必要な場合とする。 3. 環境保全(仮囲い)は、道路や住宅の近くでボーリングを行う場合等で、安全上、環境保全上、囲いが必要な場合とする。 4. 環境保全(仮囲い)の単価は、交通誘導員の費用を含まないものとする。 5. 調査孔閉塞は、調査孔を閉塞する必要がある場合とする。 6. 給水費(ポンプ運転)の単価は、水源が20m以上150m以下の場合とする。水源が20m未満は、せん孔に含むものとする。また、150m超は別途計上する。 	調 査 費	市場単価			機	労	材	その他間接調査費	○	○	○	種 別	規 格	単 位	準備及び跡片付け		業務	搬入路伐採等	幅3m以下	m	環境保全	仮囲い	箇所	調査孔閉塞		〃	給水費(ポンプ運転)	20m以上150m以下	〃	工 種	補正值	換算距離の計算	搬入路伐採等	6	換算距離=道路延長+標高差×補正值 標高差は1m単位とする。	<p>7-3 市場単価の設定 7-3-1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">調 査 費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>その他間接調査費</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p>7-3-2 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表 7.1 その他間接調査費の規格区分</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備及び跡片付け</td> <td></td> <td>業務</td> </tr> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td>幅3m以下</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>環境保全</td> <td>仮囲い</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>調査孔閉塞</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>給水費(ポンプ運転)</td> <td>20m以上150m以下</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>7-3-3 補正係数の設定</p> <p>表 7.2 その他間接調査費における距離の補正係数</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>補正值</th> <th>換算距離の計算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>換算距離=道路延長+標高差×補正值 標高差は1m単位とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>7-3-4 間接調査費の算出 間接調査費=設計単価×設計数量 但し、搬入路伐採等は、間接調査費=設計単価×換算距離 とする。 設計単価=標準の市場単価</p> <p>7-4 適用に当たっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 準備及び跡片付けの単価は、資機材の準備・保管、ボーリング地点の整地・跡片付け、占用許可及び申請手続き、位置出し測量等を含むものとする。 2. 搬入路伐採等は、現場内小運搬で立木伐採や下草刈り等が必要な場合とする。 3. 環境保全(仮囲い)は、道路や住宅の近くでボーリングを行う場合等で、安全上、環境保全上、囲いが必要な場合とする。 4. 環境保全(仮囲い)の単価は、交通誘導員の費用を含まないものとする。 5. 調査孔閉塞は、調査孔を閉塞する必要がある場合とする。 6. 給水費(ポンプ運転)の単価は、水源が20m以上150m以下の場合とする。水源が20m未満は、せん孔に含むものとする。また、150m超は別途計上する。 	調 査 費	市場単価			機	労	材	その他間接調査費	○	○	○	種 別	規 格	単 位	準備及び跡片付け		業務	搬入路伐採等	幅3m以下	m	環境保全	仮囲い	箇所	調査孔閉塞		〃	給水費(ポンプ運転)	20m以上150m以下	〃	工 種	補正值	換算距離の計算	搬入路伐採等	6	換算距離=道路延長+標高差×補正值 標高差は1m単位とする。	
調 査 費		市場単価																																																																						
	機	労	材																																																																					
その他間接調査費	○	○	○																																																																					
種 別	規 格	単 位																																																																						
準備及び跡片付け		業務																																																																						
搬入路伐採等	幅3m以下	m																																																																						
環境保全	仮囲い	箇所																																																																						
調査孔閉塞		〃																																																																						
給水費(ポンプ運転)	20m以上150m以下	〃																																																																						
工 種	補正值	換算距離の計算																																																																						
搬入路伐採等	6	換算距離=道路延長+標高差×補正值 標高差は1m単位とする。																																																																						
調 査 費	市場単価																																																																							
	機	労	材																																																																					
その他間接調査費	○	○	○																																																																					
種 別	規 格	単 位																																																																						
準備及び跡片付け		業務																																																																						
搬入路伐採等	幅3m以下	m																																																																						
環境保全	仮囲い	箇所																																																																						
調査孔閉塞		〃																																																																						
給水費(ポンプ運転)	20m以上150m以下	〃																																																																						
工 種	補正值	換算距離の計算																																																																						
搬入路伐採等	6	換算距離=道路延長+標高差×補正值 標高差は1m単位とする。																																																																						

(H27)

改 定	現 行	備 考																								
<p>2-6-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表 2. 6. 3 その他間接調査費の日当たり作業量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種 別 ・ 規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備跡片付け</td> <td>業務</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">166.0</td> </tr> <tr> <td>環境保全</td> <td>仮囲い</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> </tbody> </table>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	準備跡片付け	業務	1.0	搬入路伐採等	m	166.0	環境保全	仮囲い	2.0	<p>7-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表 7. 3 その他間接調査費の日当たり作業量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種 別 ・ 規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備跡片付け</td> <td>業務</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">166.0</td> </tr> <tr> <td>環境保全</td> <td>仮囲い</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> </tbody> </table>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	準備跡片付け	業務	1.0	搬入路伐採等	m	166.0	環境保全	仮囲い	2.0	
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																								
準備跡片付け	業務	1.0																								
搬入路伐採等	m	166.0																								
環境保全	仮囲い	2.0																								
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																								
準備跡片付け	業務	1.0																								
搬入路伐採等	m	166.0																								
環境保全	仮囲い	2.0																								

(H27)

改 定	現 行	備 考
<p>2-7 解析等調査業務</p> <p>2-7-1 適用範囲 機械ボーリングの解析等調査業務を含めた業務に適用することとし、単価は、特別調査等により計上する。</p> <p>1. 単価が適用できる範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 解析等調査業務のうち、既存資料の収集・現地調査、資料整理とりまとめ、断面図等の作成、総合解析とりまとめ、打合せとする。 2. 直接人件費の内、解析等調査業務費として計上する部分は、コンサルタント的調査業務としてのその他原価の対象とし、それ以外の部分は直接調査費に計上する。 3. ダム、トンネル、地すべり、砂防等の大規模な業務や技術的に高度な業務には適用しない。 4. 「土木設計業務等の電子納品要領（案）」、「地質調査資料整理要領（案）」等に基づいて作成する場合にも適用でき、費用についても含む。 <p>2. 適用に当たっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岩盤ボーリング1本は土質ボーリング3本に換算する。また、ボーリング1本中に土質ボーリングと岩盤ボーリングが混在する場合は、その1本に占める割合が多い方とする。 2. ボーリングのせん孔長は考慮しないものとする。 <p>2-7-2 単価の設定</p> <p>1. 単価の構成と範囲</p> <p>1-1. 既存資料の収集・現地調査</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)業務の範囲 <ol style="list-style-type: none"> ① 関係文献等の収集と検討 ② 調査地周辺の現地踏査 (2)単価は、コピー代等を含む。 <p>1-2. 資料整理とりまとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)業務の範囲 <ol style="list-style-type: none"> ① 各種計測結果の評価および考察（異常データのチェック含む）。 ② 試料の観察。 ③ ボーリング柱状図の作成。 (2)単価は、ボーリング柱状図、コピー代を含む。 (3)本単価は内業単価である。 <p>1-3. 断面図等の作成</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)業務の範囲 <ol style="list-style-type: none"> ① 地層および土性の判定。 ② 土質又は地質断面図の作成（着色を含む）。 (2)単価は、用紙類等を含む。 (3)本単価は内業単価である。 	<p>第8節 解析等調査業務</p> <p>8-1 適用範囲 機械ボーリングの解析等調査業務を含めた業務に適用することとし、単価は、特別調査等により計上する。</p> <p>8-1-1 単価が適用できる範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 解析等調査業務のうち、既存資料の収集・現地調査、資料整理とりまとめ、断面図等の作成、総合解析とりまとめ、打合せとする。 2. 直接人件費の内、解析等調査業務費として計上する部分は、コンサルタント的調査業務としてのその他原価の対象とし、それ以外の部分は直接調査費に計上する。 3. ダム、トンネル、地すべり、砂防等の大規模な業務や技術的に高度な業務には適用しない。 4. 「土木設計業務等の電子納品要領（案）」、「地質調査資料整理要領（案）」等に基づいて作成する場合にも適用でき、費用についても含む。 <p>8-1-2 適用に当たっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岩盤ボーリング1本は土質ボーリング3本に換算する。また、ボーリング1本中に土質ボーリングと岩盤ボーリングが混在する場合は、その1本に占める割合が多い方とする。 2. ボーリングのせん孔長は考慮しないものとする。 <p>8-2 単価の設定</p> <p>8-2-1 単価の構成と範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存資料の収集・現地調査 <ol style="list-style-type: none"> (1)業務の範囲 <ol style="list-style-type: none"> ① 関係文献等の収集と検討 ② 調査地周辺の現地踏査 (2)単価は、フィルム代、現像代、コピー代等を含む。 2. 資料整理とりまとめ <ol style="list-style-type: none"> (1)業務の範囲 <ol style="list-style-type: none"> ① 各種計測結果の評価および考察（異常データのチェック含む）。 ② 試料の観察。 ③ ボーリング柱状図の作成。 (2)単価は、ボーリング柱状図、コピー代を含む。 (3)本単価は内業単価である。 3. 断面図等の作成 <ol style="list-style-type: none"> (1)業務の範囲 <ol style="list-style-type: none"> ① 地層および土性の判定。 ② 土質又は地質断面図の作成（着色を含む）。 (2)単価は、用紙類、色鉛筆等を含む。 (3)本単価は内業単価である。 	

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																
<p>1-4. 総合解析とりまとめ (1)業務の範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 調査地周辺の地形・地質の検討 ② 地質調査結果に基づく土質定数の設定 ③ 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定 ④ 地盤の透水性の検討(現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合) ⑤ 調査結果に基づく基礎形式の検討(具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討) ⑥ 設計・施工上の留意点の検討(特に盛土や切土を行う場合)。 ⑦ 報告書の執筆 <p>ただし、次のような業務は含まない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 杭の支持力計算、圧密沈下(沈下量及び沈下時間)計算、応力分布及び地すべり計算等の具体的な計算業務。 2) 高度な土質・地質定数の計算と検討、軟弱地盤に対する対策工法の検討、安定解析、液状化解析、特定の基礎工法や構造物に関する総合的検討。 <p>(2)試験種目数別の補正</p> <p>現地で行われる調査、室内試験等を含む調査の種目数は、0～3種を標準とし、これを超える場合には、補正する。</p> <p>なお、試験種目は、サンプリング、標準貫入試験、動的円錐貫入試験、孔内水平載荷試験、現場透水試験、岩盤透水試験、間隙水圧試験、スウェーデン式サウンディング、オランダ式二重管コーン貫入試験、ポータブルコーン貫入試験、三成分コーン試験、電気式静的コーン貫入試験、オートマチックサウンディング、物理的性質試験、化学的性質試験、力学的性質試験、現場単位体積重量試験、平板載荷試験、現場 CBR 試験等の区分とする。</p> <p>(3)単価は、コピー代等を含む。</p> <p>(4)本単価は内業単価である。</p> <p>1-5. 打合せ</p> <p>中間打合せの回数は3回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。</p> <p>2. 単価の規格・仕様区分</p> <p>表2.7. 1 解析等調査業務の規格区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種 別</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存資料の収集・現地調査</td> <td>直接人件費(解析等調査業務費分)</td> <td>業務</td> </tr> <tr> <td>資料整理とりまとめ</td> <td>〃(解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃(直接調査費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>断面図等の作成</td> <td>〃(解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃(直接調査費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>総合解析とりまとめ</td> <td>〃(解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>打合せ</td> <td>〃(解析等調査業務費分)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	規 格	単 位	既存資料の収集・現地調査	直接人件費(解析等調査業務費分)	業務	資料整理とりまとめ	〃(解析等調査業務費分)	〃	〃	〃(直接調査費分)	〃	断面図等の作成	〃(解析等調査業務費分)	〃	〃	〃(直接調査費分)	〃	総合解析とりまとめ	〃(解析等調査業務費分)	〃	打合せ	〃(解析等調査業務費分)	—	<p>4. 総合解析とりまとめ (1)業務の範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 調査地周辺の地形・地質の検討 ② 地質調査結果に基づく土質定数の設定 ③ 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定 ④ 地盤の透水性の検討(現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合) ⑤ 調査結果に基づく基礎形式の検討(具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討) ⑥ 設計・施工上の留意点の検討(特に盛土や切土を行う場合)。 ⑦ 報告書の執筆 <p>ただし、次のような業務は含まない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 杭の支持力計算、圧密沈下(沈下量及び沈下時間)計算、応力分布及び地すべり計算等の具体的な計算業務。 2) 高度な土質・地質定数の計算と検討、軟弱地盤に対する対策工法の検討、安定解析、液状化解析、特定の基礎工法や構造物に関する総合的検討。 <p>(2)試験種目数別の補正</p> <p>現地で行われる調査、室内試験等を含む調査の種目数は、0～3種を標準とし、これを超える場合には、補正する。</p> <p>なお、試験種目は、サンプリング、標準貫入試験、動的円錐貫入試験、孔内水平載荷試験、現場透水試験、岩盤透水試験、間隙水圧試験、スウェーデン式サウンディング、オランダ式二重管コーン貫入試験、ポータブルコーン貫入試験、三成分コーン試験、電気式静的コーン貫入試験、オートマチックサウンディング、物理的性質試験、化学的性質試験、力学的性質試験、現場単位体積重量試験、平板載荷試験、現場 CBR 試験等の区分とする。</p> <p>(3)単価は、コピー代等を含む。</p> <p>(4)本単価は内業単価である。</p> <p>5. 打合せ</p> <p>中間打合せの回数は1回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。</p> <p>8-2-2 単価の規格・仕様区分</p> <p>表8. 1 解析等調査業務の規格区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種 別</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存資料の収集・現地調査</td> <td>直接人件費(解析等調査業務費分)</td> <td>業務</td> </tr> <tr> <td>資料整理とりまとめ</td> <td>〃(解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃(直接調査費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>断面図等の作成</td> <td>〃(解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃(直接調査費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>総合解析とりまとめ</td> <td>〃(解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>打合せ</td> <td>〃(解析等調査業務費分)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	規 格	単 位	既存資料の収集・現地調査	直接人件費(解析等調査業務費分)	業務	資料整理とりまとめ	〃(解析等調査業務費分)	〃	〃	〃(直接調査費分)	〃	断面図等の作成	〃(解析等調査業務費分)	〃	〃	〃(直接調査費分)	〃	総合解析とりまとめ	〃(解析等調査業務費分)	〃	打合せ	〃(解析等調査業務費分)	—	
種 別	規 格	単 位																																																
既存資料の収集・現地調査	直接人件費(解析等調査業務費分)	業務																																																
資料整理とりまとめ	〃(解析等調査業務費分)	〃																																																
〃	〃(直接調査費分)	〃																																																
断面図等の作成	〃(解析等調査業務費分)	〃																																																
〃	〃(直接調査費分)	〃																																																
総合解析とりまとめ	〃(解析等調査業務費分)	〃																																																
打合せ	〃(解析等調査業務費分)	—																																																
種 別	規 格	単 位																																																
既存資料の収集・現地調査	直接人件費(解析等調査業務費分)	業務																																																
資料整理とりまとめ	〃(解析等調査業務費分)	〃																																																
〃	〃(直接調査費分)	〃																																																
断面図等の作成	〃(解析等調査業務費分)	〃																																																
〃	〃(直接調査費分)	〃																																																
総合解析とりまとめ	〃(解析等調査業務費分)	〃																																																
打合せ	〃(解析等調査業務費分)	—																																																

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																										
<p>3. 補正係数の設定表 1. 解析等調査業務</p> <p>表 2. 7. 2 解析等調査業務の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">土質ボーリング</th> <th>補正係数 (計算式)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存資料の収集・現地調査</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.035X + 0.79$</td> </tr> <tr> <td>資料整理とりまとめ</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>直接人件費 (直接調査費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>断面図等の作成</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>直接人件費 (直接調査費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>総合解析とりまとめ</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.020X + 0.88$</td> </tr> </tbody> </table> <p>Y: 補正係数 X: 土質ボーリング本数</p> <p>2. 試験種目数別の補正係数 (総合解析とりまとめ)</p> <p>表 2. 7. 3 試験種目数別の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験種目数</th> <th>0～3種</th> <th>4～5種</th> <th>6～9種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.00</td> <td>1.20</td> <td>1.30</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 直接人件費の算出及び直接調査費の算出</p> <p>直接人件費＝設計単価 設計単価＝標準の単価×補正係数</p> <p>ただし、資料整理とりまとめ等の直接調査費については次のとおり。 直接調査費＝設計単価 設計単価＝標準の単価×補正係数</p>	土質ボーリング		補正係数 (計算式)	既存資料の収集・現地調査	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.035X + 0.79$	資料整理とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$	〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$	断面図等の作成	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$	〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$	総合解析とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.020X + 0.88$	試験種目数	0～3種	4～5種	6～9種	補正係数	1.00	1.20	1.30	<p>8-2-3 補正係数の設定表 1. 解析等調査業務</p> <p>表 8. 2 解析等調査業務の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">土質ボーリング</th> <th>補正係数 (計算式)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存資料の収集・現地調査</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.035X + 0.79$</td> </tr> <tr> <td>資料整理とりまとめ</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>直接人件費 (直接調査費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>断面図等の作成</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>直接人件費 (直接調査費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>総合解析とりまとめ</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.020X + 0.88$</td> </tr> </tbody> </table> <p>Y: 補正係数 X: 土質ボーリング本数</p> <p>2. 試験種目数別の補正係数 (総合解析とりまとめ)</p> <p>表 8. 3 試験種目数別の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験種目数</th> <th>0～3種</th> <th>4～5種</th> <th>6～9種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.00</td> <td>1.20</td> <td>1.30</td> </tr> </tbody> </table> <p>8-3 直接人件費の算出及び直接調査費の算出</p> <p>直接人件費＝設計単価 設計単価＝標準の単価×補正係数</p> <p>ただし、資料整理とりまとめ等の直接調査費については次のとおり。 直接調査費＝設計単価 設計単価＝標準の単価×補正係数</p>	土質ボーリング		補正係数 (計算式)	既存資料の収集・現地調査	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.035X + 0.79$	資料整理とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$	〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$	断面図等の作成	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$	〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$	総合解析とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.020X + 0.88$	試験種目数	0～3種	4～5種	6～9種	補正係数	1.00	1.20	1.30	
土質ボーリング		補正係数 (計算式)																																																										
既存資料の収集・現地調査	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.035X + 0.79$																																																										
資料整理とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
断面図等の作成	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
総合解析とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.020X + 0.88$																																																										
試験種目数	0～3種	4～5種	6～9種																																																									
補正係数	1.00	1.20	1.30																																																									
土質ボーリング		補正係数 (計算式)																																																										
既存資料の収集・現地調査	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.035X + 0.79$																																																										
資料整理とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
断面図等の作成	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
総合解析とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.020X + 0.88$																																																										
試験種目数	0～3種	4～5種	6～9種																																																									
補正係数	1.00	1.20	1.30																																																									

(H27)

改 定	現 行	備 考
<p>2-8 その他</p> <p>2-8-1 電子成果品作成費 電子成果品作成費は次の計算式による。</p> <p>電子成果品作成費＝直接調査費（電子成果品作成費を除く）×0.016 ただし、上限を20万円とする。</p> <p>2-8-2 施工管理費 施工管理費は次の計算式による。 施工管理費＝直接調査費×0.007</p>	<p>第9節 その他機械ボーリング関連</p> <p>9-1 電子成果品作成費 電子成果品作成費は次の計算式による。</p> <p>電子成果品作成費＝直接調査費（電子成果品作成費を除く）×0.016 ただし、上限を20万円とする。</p> <p>9-2 施工管理費 施工管理費は次の計算式による。 施工管理費＝直接調査費×0.007</p>	

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																																																										
<p>第3節 弾性波探査業務</p> <p>3-1 適用範囲 本業務は、弾性波探査器（24成分）を使用して探査する発破法及びスタッキング法に適用する。また、本歩掛の適用延長は発破法の場合は測線延長4kmまで、スタッキング法の場合は測線延長1.5kmまでとする。地域及び地形については、地域は原野又は森林、地形は丘陵地、低山地又は高山地の場合に適用できるものとする。</p> <p>3-2 業務区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業 務 名</th> <th>適 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画 準 備</td> <td>実施計画書の作成</td> </tr> <tr> <td>現 地 踏 査</td> <td>測線計画、起振計画のための現地踏査</td> </tr> <tr> <td>資 料 検 討</td> <td>測線計画、起振計画のための資料検討</td> </tr> <tr> <td>測 線 設 定</td> <td>現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）</td> </tr> <tr> <td>観 測</td> <td>現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）</td> </tr> <tr> <td>解 析</td> <td>観測結果についての解析及び地層、地質の判定</td> </tr> <tr> <td>報 告 書 取 り ま と め</td> <td>調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 地域・地形区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域 区 分</th> <th>適 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原 野</td> <td>樹木が少なく見通しのよいところ</td> </tr> <tr> <td>森 林</td> <td>樹木が多く見通しの悪いところ</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 形 区 分</th> <th>適 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丘 陵 地</td> <td>緩やかな起伏のあるところ</td> </tr> <tr> <td>低 山 地</td> <td>相当勾配のある地形、あるいは標高1,000m未満の山地</td> </tr> <tr> <td>高 山 地</td> <td>急峻な地形、あるいは標高1,000m以上の山地</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 解析等調査業務費及び直接調査費</p> <p>3-4-1 発破法及びスタッキング法標準歩掛（受振点間隔5m）</p> <p>解析等調査業務費 (1km当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="6">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主 任 技 師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画 準 備</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現 地 踏 査</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>資 料 検 討</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>解 析</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> <td>3.5</td> <td>6.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報 告 書 取 り ま と め</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3.0</td> <td>9.0</td> <td>12.0</td> <td>6.0</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	業 務 名	適 用 範 囲	計 画 準 備	実施計画書の作成	現 地 踏 査	測線計画、起振計画のための現地踏査	資 料 検 討	測線計画、起振計画のための資料検討	測 線 設 定	現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）	観 測	現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）	解 析	観測結果についての解析及び地層、地質の判定	報 告 書 取 り ま と め	調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる	地 域 区 分	適 用 範 囲	原 野	樹木が少なく見通しのよいところ	森 林	樹木が多く見通しの悪いところ	地 形 区 分	適 用 範 囲	丘 陵 地	緩やかな起伏のあるところ	低 山 地	相当勾配のある地形、あるいは標高1,000m未満の山地	高 山 地	急峻な地形、あるいは標高1,000m以上の山地	職 種	直 接 人 件 費						技師長	主 任 技 師	技師A	技師B	技師C	技術員	計 画 準 備		2.0	2.0		2.0		現 地 踏 査		2.0	1.0				資 料 検 討		0.5	1.5				解 析	1.5	2.5	3.5	6.0			報 告 書 取 り ま と め	1.5	2.0	4.0				合 計	3.0	9.0	12.0	6.0	2.0		<p>第10節 弾性波探査業務</p> <p>10-1 適用範囲 本業務は、弾性波探査器（24成分）を使用して探査する発破法及びスタッキング法に適用する。また、本歩掛の適用延長は発破法の場合は測線延長4kmまで、スタッキング法の場合は測線延長1.5kmまでとする。地域及び地形については、地域は原野又は森林、地形は丘陵地、低山地又は高山地の場合に適用できるものとする。</p> <p>10-2 業務区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業 務 名</th> <th>適 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画 準 備</td> <td>実施計画書の作成</td> </tr> <tr> <td>現 地 踏 査</td> <td>測線計画、起振計画のための現地踏査</td> </tr> <tr> <td>資 料 検 討</td> <td>測線計画、起振計画のための資料検討</td> </tr> <tr> <td>測 線 設 定</td> <td>現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）</td> </tr> <tr> <td>観 測</td> <td>現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）</td> </tr> <tr> <td>解 析</td> <td>観測結果についての解析及び地層、地質の判定</td> </tr> <tr> <td>報 告 書 取 り ま と め</td> <td>調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる</td> </tr> </tbody> </table> <p>10-3 地域・地形区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域 区 分</th> <th>適 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原 野</td> <td>樹木が少なく見通しのよいところ</td> </tr> <tr> <td>森 林</td> <td>樹木が多く見通しの悪いところ</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 形 区 分</th> <th>適 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丘 陵 地</td> <td>緩やかな起伏のあるところ</td> </tr> <tr> <td>低 山 地</td> <td>相当勾配のある地形、あるいは標高1,000m未満の山地</td> </tr> <tr> <td>高 山 地</td> <td>急峻な地形、あるいは標高1,000m以上の山地</td> </tr> </tbody> </table> <p>10-4 解析等調査業務費及び直接調査費</p> <p>10-4-1 発破法及びスタッキング法標準歩掛（受振点間隔5m）</p> <p>解析等調査業務費 (1km当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="6">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主 任 技 師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画 準 備</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現 地 踏 査</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>資 料 検 討</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>解 析</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> <td>3.5</td> <td>6.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報 告 書 取 り ま と め</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3.0</td> <td>9.0</td> <td>12.0</td> <td>6.0</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	業 務 名	適 用 範 囲	計 画 準 備	実施計画書の作成	現 地 踏 査	測線計画、起振計画のための現地踏査	資 料 検 討	測線計画、起振計画のための資料検討	測 線 設 定	現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）	観 測	現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）	解 析	観測結果についての解析及び地層、地質の判定	報 告 書 取 り ま と め	調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる	地 域 区 分	適 用 範 囲	原 野	樹木が少なく見通しのよいところ	森 林	樹木が多く見通しの悪いところ	地 形 区 分	適 用 範 囲	丘 陵 地	緩やかな起伏のあるところ	低 山 地	相当勾配のある地形、あるいは標高1,000m未満の山地	高 山 地	急峻な地形、あるいは標高1,000m以上の山地	職 種	直 接 人 件 費						技師長	主 任 技 師	技師A	技師B	技師C	技術員	計 画 準 備		2.0	2.0		2.0		現 地 踏 査		2.0	1.0				資 料 検 討		0.5	1.5				解 析	1.5	2.5	3.5	6.0			報 告 書 取 り ま と め	1.5	2.0	4.0				合 計	3.0	9.0	12.0	6.0	2.0		
業 務 名	適 用 範 囲																																																																																																																																																																											
計 画 準 備	実施計画書の作成																																																																																																																																																																											
現 地 踏 査	測線計画、起振計画のための現地踏査																																																																																																																																																																											
資 料 検 討	測線計画、起振計画のための資料検討																																																																																																																																																																											
測 線 設 定	現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）																																																																																																																																																																											
観 測	現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）																																																																																																																																																																											
解 析	観測結果についての解析及び地層、地質の判定																																																																																																																																																																											
報 告 書 取 り ま と め	調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる																																																																																																																																																																											
地 域 区 分	適 用 範 囲																																																																																																																																																																											
原 野	樹木が少なく見通しのよいところ																																																																																																																																																																											
森 林	樹木が多く見通しの悪いところ																																																																																																																																																																											
地 形 区 分	適 用 範 囲																																																																																																																																																																											
丘 陵 地	緩やかな起伏のあるところ																																																																																																																																																																											
低 山 地	相当勾配のある地形、あるいは標高1,000m未満の山地																																																																																																																																																																											
高 山 地	急峻な地形、あるいは標高1,000m以上の山地																																																																																																																																																																											
職 種	直 接 人 件 費																																																																																																																																																																											
	技師長	主 任 技 師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																						
計 画 準 備		2.0	2.0		2.0																																																																																																																																																																							
現 地 踏 査		2.0	1.0																																																																																																																																																																									
資 料 検 討		0.5	1.5																																																																																																																																																																									
解 析	1.5	2.5	3.5	6.0																																																																																																																																																																								
報 告 書 取 り ま と め	1.5	2.0	4.0																																																																																																																																																																									
合 計	3.0	9.0	12.0	6.0	2.0																																																																																																																																																																							
業 務 名	適 用 範 囲																																																																																																																																																																											
計 画 準 備	実施計画書の作成																																																																																																																																																																											
現 地 踏 査	測線計画、起振計画のための現地踏査																																																																																																																																																																											
資 料 検 討	測線計画、起振計画のための資料検討																																																																																																																																																																											
測 線 設 定	現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）																																																																																																																																																																											
観 測	現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）																																																																																																																																																																											
解 析	観測結果についての解析及び地層、地質の判定																																																																																																																																																																											
報 告 書 取 り ま と め	調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる																																																																																																																																																																											
地 域 区 分	適 用 範 囲																																																																																																																																																																											
原 野	樹木が少なく見通しのよいところ																																																																																																																																																																											
森 林	樹木が多く見通しの悪いところ																																																																																																																																																																											
地 形 区 分	適 用 範 囲																																																																																																																																																																											
丘 陵 地	緩やかな起伏のあるところ																																																																																																																																																																											
低 山 地	相当勾配のある地形、あるいは標高1,000m未満の山地																																																																																																																																																																											
高 山 地	急峻な地形、あるいは標高1,000m以上の山地																																																																																																																																																																											
職 種	直 接 人 件 費																																																																																																																																																																											
	技師長	主 任 技 師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																						
計 画 準 備		2.0	2.0		2.0																																																																																																																																																																							
現 地 踏 査		2.0	1.0																																																																																																																																																																									
資 料 検 討		0.5	1.5																																																																																																																																																																									
解 析	1.5	2.5	3.5	6.0																																																																																																																																																																								
報 告 書 取 り ま と め	1.5	2.0	4.0																																																																																																																																																																									
合 計	3.0	9.0	12.0	6.0	2.0																																																																																																																																																																							

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																																																																																																																
<p style="text-align: center;">直接調査費 (1 km 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種 区 分</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測 線 設 定</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> <td style="text-align: center;">4.1</td> <td style="text-align: center;">12.5</td> </tr> <tr> <td>観 測</td> <td style="text-align: center;">4.8</td> <td style="text-align: center;">6.2</td> <td style="text-align: center;">15.6</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">8.7</td> <td style="text-align: center;">10.3</td> <td style="text-align: center;">28.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 2. 受振点間隔が5 m以外の場合は、別途計上する。 3. 解析等調査業務費における直接人件費は、その他原価の対象とする。また、直接調査費における直接人件費には、施工管理費も含む。 4. 測線延長1 km 以外の場合は、次式により補正係数を求め標準歩掛(解析等調査業務費：計画準備～報告書とりまとめ、及び直接調査費：測線設定～観測)に乗ずるものとする。 なお、測線延長は小数第2位(小数第3位を四捨五入)までを代入し、補正係数は小数第2位(小数第3位を四捨五入)まで算出するものとする。 補正式 $y = 0.492x + 0.508$ $y : \text{補正係数}$ $x : \text{測線延長 (km)}$</p> <p>3-4-2 機械経費及び材料費</p> <p>機械経費(損料)及び材料費は測線設定及び観測に要するもので、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: right;">(1 km 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">機 械 経 費</th> <th colspan="5">材 料 費</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> <th></th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">構 成</td> <td>トランシット</td> <td>3級</td> <td>日</td> <td>3.4</td> <td>20秒読み</td> <td rowspan="3">構 成</td> <td>木 杭</td> <td>平杭</td> <td>本</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>レベル自動式</td> <td>3級</td> <td>"</td> <td>3.4</td> <td>40/2mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他測量器具</td> <td></td> <td>"</td> <td>3.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">経 費 率</td> <td colspan="5">1.7%</td> <td colspan="5">材 料 費 率</td> <td colspan="5">3.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械経費率及び材料費率は測線設定にかかる直接人件費に対する割合である。</p>	職 種 区 分	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	測 線 設 定	3.9	4.1	12.5	観 測	4.8	6.2	15.6	合 計	8.7	10.3	28.1	機 械 経 費						材 料 費					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	構 成	トランシット	3級	日	3.4	20秒読み	構 成	木 杭	平杭	本	200	レベル自動式	3級	"	3.4	40/2mm						その他測量器具		"	3.4							経 費 率						1.7%					材 料 費 率					3.4%					<p style="text-align: center;">直接調査費 (1 km 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種 区 分</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測 線 設 定</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> <td style="text-align: center;">4.1</td> <td style="text-align: center;">12.5</td> </tr> <tr> <td>観 測</td> <td style="text-align: center;">4.8</td> <td style="text-align: center;">6.2</td> <td style="text-align: center;">15.6</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">8.7</td> <td style="text-align: center;">10.3</td> <td style="text-align: center;">28.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 2. 受振点間隔が5 m以外の場合は、別途計上する。 3. 直接人件費は、その他原価の対象とする。 4. 測線延長1 km 以外の場合は、次式により補正係数を求め標準歩掛(解析等調査業務費：計画準備～報告書とりまとめ、及び直接調査費：測線設定～観測)に乗ずるものとする。 なお、測線延長は小数第2位(小数第3位を四捨五入)までを代入し、補正係数は小数第2位(小数第3位を四捨五入)まで算出するものとする。 補正式 $y = 0.492x + 0.508$ $y : \text{補正係数}$ $x : \text{測線延長 (km)}$</p> <p>10-4-2 機械経費及び材料費</p> <p>機械経費(損料)及び材料費は測線設定及び観測に要するもので、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: right;">(1 km 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">機 械 経 費</th> <th colspan="5">材 料 費</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> <th></th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">構 成</td> <td>トランシット</td> <td>3級</td> <td>日</td> <td>3.4</td> <td>20秒読み</td> <td rowspan="3">構 成</td> <td>木 杭</td> <td>平杭</td> <td>本</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>レベル自動式</td> <td>3級</td> <td>"</td> <td>3.4</td> <td>40/2mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他測量器具</td> <td></td> <td>"</td> <td>3.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">経 費 率</td> <td colspan="5">1.7%</td> <td colspan="5">材 料 費 率</td> <td colspan="5">3.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械経費率及び材料費率は測線設定にかかる直接人件費に対する割合である。</p>	職 種 区 分	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	測 線 設 定	3.9	4.1	12.5	観 測	4.8	6.2	15.6	合 計	8.7	10.3	28.1	機 械 経 費						材 料 費					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	構 成	トランシット	3級	日	3.4	20秒読み	構 成	木 杭	平杭	本	200	レベル自動式	3級	"	3.4	40/2mm						その他測量器具		"	3.4							経 費 率						1.7%					材 料 費 率					3.4%																																											
職 種 区 分		直接人件費																																																																																																																																																																																																																																
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																																																																																																																																																																																																															
測 線 設 定	3.9	4.1	12.5																																																																																																																																																																																																																															
観 測	4.8	6.2	15.6																																																																																																																																																																																																																															
合 計	8.7	10.3	28.1																																																																																																																																																																																																																															
機 械 経 費						材 料 費																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
構 成	トランシット	3級	日	3.4	20秒読み	構 成	木 杭	平杭	本	200																																																																																																																																																																																																																								
	レベル自動式	3級	"	3.4	40/2mm																																																																																																																																																																																																																													
	その他測量器具		"	3.4																																																																																																																																																																																																																														
経 費 率						1.7%					材 料 費 率					3.4%																																																																																																																																																																																																																		
職 種 区 分	直接人件費																																																																																																																																																																																																																																	
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																																																																																																																																																																																																															
測 線 設 定	3.9	4.1	12.5																																																																																																																																																																																																																															
観 測	4.8	6.2	15.6																																																																																																																																																																																																																															
合 計	8.7	10.3	28.1																																																																																																																																																																																																																															
機 械 経 費						材 料 費																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
構 成	トランシット	3級	日	3.4	20秒読み	構 成	木 杭	平杭	本	200																																																																																																																																																																																																																								
	レベル自動式	3級	"	3.4	40/2mm																																																																																																																																																																																																																													
	その他測量器具		"	3.4																																																																																																																																																																																																																														
経 費 率						1.7%					材 料 費 率					3.4%																																																																																																																																																																																																																		
<p style="text-align: center;">発破法及びスタッキング法における測線設定の機械経費及び材料費 (1 km 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">機 械 経 費</th> <th colspan="5">材 料 費</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> <th></th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">構 成</td> <td>弾性波探査器</td> <td>24成分</td> <td>日</td> <td>2.8</td> <td></td> <td rowspan="3">構 成</td> <td>ダイナマイト</td> <td>3号桐</td> <td>kg</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>発破母線損耗</td> <td></td> <td>m</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>電気雷管</td> <td></td> <td>本</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>絶縁テープ</td> <td></td> <td>巻</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>電話線損耗</td> <td></td> <td>m</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>安全対策器具</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>雑 品</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="6">経 費 率</td> <td colspan="5">13.6%</td> <td colspan="5">材 料 費 率</td> <td colspan="5">26.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械経費率及び材料費率は観測にかかる直接人件費に対する割合である。</p>	機 械 経 費						材 料 費					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	構 成	弾性波探査器	24成分	日	2.8		構 成	ダイナマイト	3号桐	kg	15						発破母線損耗		m	132						電気雷管		本	126							絶縁テープ		巻	29							電話線損耗		m	227							安全対策器具		式	1							雑 品		式	1	経 費 率						13.6%					材 料 費 率					26.6%					<p style="text-align: center;">発破法における観測の機械経費及び材料費 (1 km 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">機 械 経 費</th> <th colspan="5">材 料 費</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> <th></th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">構 成</td> <td>弾性波探査器</td> <td>24成分</td> <td>日</td> <td>2.8</td> <td></td> <td rowspan="3">構 成</td> <td>ダイナマイト</td> <td>3号桐</td> <td>kg</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>発破母線損耗</td> <td></td> <td>m</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>電気雷管</td> <td></td> <td>本</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>絶縁テープ</td> <td></td> <td>巻</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>電話線損耗</td> <td></td> <td>m</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>安全対策器具</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>雑 品</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="6">経 費 率</td> <td colspan="5">13.6%</td> <td colspan="5">材 料 費 率</td> <td colspan="5">26.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械経費率及び材料費率は観測にかかる直接人件費に対する割合である。</p>	機 械 経 費						材 料 費					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	構 成	弾性波探査器	24成分	日	2.8		構 成	ダイナマイト	3号桐	kg	15						発破母線損耗		m	132						電気雷管		本	126							絶縁テープ		巻	29							電話線損耗		m	227							安全対策器具		式	1							雑 品		式	1	経 費 率						13.6%					材 料 費 率					26.6%					
機 械 経 費						材 料 費																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
構 成	弾性波探査器	24成分	日	2.8		構 成	ダイナマイト	3号桐	kg	15																																																																																																																																																																																																																								
							発破母線損耗		m	132																																																																																																																																																																																																																								
							電気雷管		本	126																																																																																																																																																																																																																								
						絶縁テープ		巻	29																																																																																																																																																																																																																									
						電話線損耗		m	227																																																																																																																																																																																																																									
						安全対策器具		式	1																																																																																																																																																																																																																									
						雑 品		式	1																																																																																																																																																																																																																									
経 費 率						13.6%					材 料 費 率					26.6%																																																																																																																																																																																																																		
機 械 経 費						材 料 費																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
構 成	弾性波探査器	24成分	日	2.8		構 成	ダイナマイト	3号桐	kg	15																																																																																																																																																																																																																								
							発破母線損耗		m	132																																																																																																																																																																																																																								
							電気雷管		本	126																																																																																																																																																																																																																								
						絶縁テープ		巻	29																																																																																																																																																																																																																									
						電話線損耗		m	227																																																																																																																																																																																																																									
						安全対策器具		式	1																																																																																																																																																																																																																									
						雑 品		式	1																																																																																																																																																																																																																									
経 費 率						13.6%					材 料 費 率					26.6%																																																																																																																																																																																																																		

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																																																																																
<p style="text-align: center;">スタッキング法における観測の機械経費及び材料費 (1km当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">機 械 経 費</th> <th colspan="5">材 料 費</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構</td> <td>弾性波探査器</td> <td>24成分</td> <td>日</td> <td>2.8</td> <td>構</td> <td>絶縁テープ</td> <td>巻</td> <td>29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>成</td> <td>電話線損耗</td> <td>m</td> <td>227</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>成</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">経 費 率</td> <td colspan="5">13.6%</td> <td>材 料 費 率</td> <td colspan="5">6.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械経費率及び材料費率は観測にかかる直接人件費に対する割合である。</p> <p>3-5 間接調査費 3-5-1 準備費</p> <p style="text-align: center;">発 破 法 (1km当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場準備及び後片づけ</td> <td>3.2</td> <td>6.2</td> <td>7.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場準備及び後片づけには、火工所設置撤去、火薬作業申請手続き、地権者交渉、発破孔埋戻しを含んでいる。 2. 測線延長が1km以外の場合は、次式より補正係数を求め標準歩掛に乗ずるものとする。 補正式 $y = 0.489x + 0.511$ y : 補正係数 x : 測線延長 (km)</p> <p style="text-align: center;">スタッキング法 (1km当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場準備及び後片づけ</td> <td>1.7</td> <td>2.8</td> <td>3.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場準備及び後片づけには、地権者交渉を含んでいる。 2. 測線延長が1km以外の場合は、次式より補正係数を求め標準歩掛に乗ずるものとする。 補正式 $y = 0.674x + 0.326$ y : 補正係数 x : 測線延長 (km)</p> <p>3-6 その他 (1) 打合せ 中間打合せの回数は4回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間時打合せ1回の人員を増減する。 (2) 電子成果品作成費 弾性波探査の報告書とりまとめ等に係る電子成果品作成費は次の計算式による。 $y = 0.0215x + 45,451$ y : 電子成果品作成費 (円) x : 直接調査費 (円)</p>	機 械 経 費					材 料 費					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	構	弾性波探査器	24成分	日	2.8	構	絶縁テープ	巻	29		成					成	電話線損耗	m	227							成	雑 品	式	1		経 費 率					13.6%					材 料 費 率	6.3%					職 種	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	区 分				現場準備及び後片づけ	3.2	6.2	7.3	職 種	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	区 分				現場準備及び後片づけ	1.7	2.8	3.6	<p style="text-align: center;">スタッキング法における観測の機械経費及び材料費 (1km当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">機 械 経 費</th> <th colspan="5">材 料 費</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構</td> <td>弾性波探査器</td> <td>24成分</td> <td>日</td> <td>2.8</td> <td>構</td> <td>絶縁テープ</td> <td>巻</td> <td>29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>成</td> <td>電話線損耗</td> <td>m</td> <td>227</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>成</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">経 費 率</td> <td colspan="5">13.6%</td> <td>材 料 費 率</td> <td colspan="5">6.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械経費率及び材料費率は観測にかかる直接人件費に対する割合である。</p> <p>10-5 間接調査費 10-5-1 準備費</p> <p style="text-align: center;">発 破 法 (1km当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場準備及び後片づけ</td> <td>3.2</td> <td>6.2</td> <td>7.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場準備及び後片づけには、火工所設置撤去、火薬作業申請手続き、地権者交渉、発破孔埋戻しを含んでいる。 2. 測線延長が1km以外の場合は、次式より補正係数を求め標準歩掛に乗ずるものとする。 補正式 $y = 0.489x + 0.511$ y : 補正係数 x : 測線延長 (km)</p> <p style="text-align: center;">スタッキング法 (1km当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場準備及び後片づけ</td> <td>1.7</td> <td>2.8</td> <td>3.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場準備及び後片づけには、地権者交渉を含んでいる。 2. 測線延長が1km以外の場合は、次式より補正係数を求め標準歩掛に乗ずるものとする。 補正式 $y = 0.674x + 0.326$ y : 補正係数 x : 測線延長 (km)</p> <p>10-6 その他 (1) 打合せ 中間打合せの回数は2回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間時打合せ1回の人員を増減する。 (2) 電子成果品作成費 弾性波探査の報告書とりまとめ等に係る電子成果品作成費は次の計算式による。 $y = 0.0215x + 45,451$ y : 電子成果品作成費 (円) x : 直接調査費 (円)</p>	機 械 経 費					材 料 費					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	構	弾性波探査器	24成分	日	2.8	構	絶縁テープ	巻	29		成					成	電話線損耗	m	227							成	雑 品	式	1		経 費 率					13.6%					材 料 費 率	6.3%					職 種	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	区 分				現場準備及び後片づけ	3.2	6.2	7.3	職 種	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	区 分				現場準備及び後片づけ	1.7	2.8	3.6	
機 械 経 費					材 料 費																																																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																									
構	弾性波探査器	24成分	日	2.8	構	絶縁テープ	巻	29																																																																																																																																																																																										
成					成	電話線損耗	m	227																																																																																																																																																																																										
					成	雑 品	式	1																																																																																																																																																																																										
経 費 率					13.6%					材 料 費 率	6.3%																																																																																																																																																																																							
職 種	直接人件費																																																																																																																																																																																																	
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																																																																																																																																																																															
区 分																																																																																																																																																																																																		
現場準備及び後片づけ	3.2	6.2	7.3																																																																																																																																																																																															
職 種	直接人件費																																																																																																																																																																																																	
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																																																																																																																																																																															
区 分																																																																																																																																																																																																		
現場準備及び後片づけ	1.7	2.8	3.6																																																																																																																																																																																															
機 械 経 費					材 料 費																																																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																									
構	弾性波探査器	24成分	日	2.8	構	絶縁テープ	巻	29																																																																																																																																																																																										
成					成	電話線損耗	m	227																																																																																																																																																																																										
					成	雑 品	式	1																																																																																																																																																																																										
経 費 率					13.6%					材 料 費 率	6.3%																																																																																																																																																																																							
職 種	直接人件費																																																																																																																																																																																																	
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																																																																																																																																																																															
区 分																																																																																																																																																																																																		
現場準備及び後片づけ	3.2	6.2	7.3																																																																																																																																																																																															
職 種	直接人件費																																																																																																																																																																																																	
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																																																																																																																																																																															
区 分																																																																																																																																																																																																		
現場準備及び後片づけ	1.7	2.8	3.6																																																																																																																																																																																															

(H27)

改 定	現 行	備 考
<p>第4節 軟弱地盤技術解析</p> <p>4-1 軟弱地盤技術解析積算基準</p> <p>4-1-1 適用範囲 軟弱地盤解析は、軟弱地盤上の盛土、構造物（地下構造物、直接基礎含む）を施工するにあたり地質調査で得られた資料を基に、基礎地盤、盛土、工事に伴い影響する周辺地盤等について、下記4-1-4業務内容における（3）現況軟弱地盤の解析、（4）検討対策工法の選定、（5）対策後地盤解析、（6）最適工法の決定で示す検討を行う場合に適用する。</p> <p>4-1-2 軟弱地盤解析を実施する条件となる構造物 堤防盛土（高規格堤防を含む）、道路盛土、排水機場、建築物、地下構造物等とする。 構造物自体の安定計算として実施することを、設計指針で規定している等、一般化している安定計算（擁壁のすべり安定計算、土留壁の変形計算、樋管基礎地盤の沈下計算・対策検討、法面勾配決定のための盛土内円弧すべり計算、支持杭基礎における諸検討等）及び現況軟弱地盤の解析を必要としない簡易な対策工法の検討は、本業務の対象外とする。</p> <p>4-1-3 業務のフロー</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p style="text-align: center;">地質調査（土質定数の設定含む）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">現地踏査及び解析計画</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">現況での地盤の解析</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">対策工法の選定</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">対策後の状態を想定した地盤の解析</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">最適工法の決定</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">詳細設計</p> </div> <div> <p>実線枠内が軟弱地盤技術解析の対象範囲</p> </div> </div> <p>4-1-4 業務内容 （1）解析計画 業務遂行のための作業工程計画・人員計画の作成、解析の基本条件の整理・検討（検討土層断面の設定、土質試験結果の評価を含む）、業務打合せのための資料作成等を行うものである。</p> <p>(略)</p>	<p>第1.1節 軟弱地盤技術解析</p> <p>1.1-1 軟弱地盤技術解析積算基準</p> <p>1.1-1-1 適用範囲 軟弱地盤解析は、軟弱地盤上の盛土、構造物（地下構造物、直接基礎含む）を施工するにあたり地質調査で得られた資料を基に、基礎地盤、盛土、工事に伴い影響する周辺地盤等について、下記1.1-1-4業務内容における（3）現況軟弱地盤の解析、（4）検討対策工法の選定、（5）対策後地盤解析、（6）最適工法の決定で示す検討を行う場合に適用する。</p> <p>1.1-1-2 軟弱地盤解析を実施する条件となる構造物 堤防盛土（高規格堤防を含む）、道路盛土、排水機場、建築物、地下構造物等とする。 構造物自体の安定計算として実施することを、設計指針で規定している等、一般化している安定計算（擁壁のすべり安定計算、土留壁の変形計算、樋管基礎地盤の沈下計算・対策検討、法面勾配決定のための盛土内円弧すべり計算、支持杭基礎における諸検討等）及び現況軟弱地盤の解析を必要としない簡易な対策工法の検討は、本業務の対象外とする。</p> <p>1.1-1-3 業務のフロー</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p style="text-align: center;">地質調査（土質定数の設定含む）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">現地踏査及び解析計画</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">現況での地盤の解析</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">対策工法の選定</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">対策後の状態を想定した地盤の解析</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">最適工法の決定</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">詳細設計</p> </div> <div> <p>実線枠内が軟弱地盤技術解析の対象範囲</p> </div> </div> <p>1.1-1-4 業務内容 （1）解析計画 業務遂行のための作業工程計画・人員計画の作成、解析の基本条件の整理・検討（検討土層断面の設定、土質試験結果の評価を含む）、業務打合せのための資料作成等を行うものである。</p> <p>(略)</p>	

(H27)

改 定										現 行								備 考																																																																																																																																																																																																																																																														
4-2 軟弱地盤技術解析業務 4-2-1 標準歩掛 この歩掛は、道路、河川関係の軟弱地盤技術解析に適用する。										11-2 軟弱地盤技術解析業務 11-2-1 標準歩掛 この歩掛は、道路、河川関係の軟弱地盤技術解析に適用する。																																																																																																																																																																																																																																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種 (細別)</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="7">職 種</th> </tr> <tr> <th>主任技術者</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>解析計画</td> <td>人/業務</td> <td>1.5</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>現地踏査</td> <td>人/業務</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">現況地盤解析</td> <td>※地盤破壊 円弧すべり</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>※地盤変形 簡便法</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>※地盤圧密 一次元解析</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>※地盤液状化 簡便法</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>検討対策工法の選定</td> <td>人/業務</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">対策後地盤解析</td> <td>※地盤破壊 円弧すべり</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>※地盤変形 簡便法</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>※地盤圧密 一次元解析</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>※地盤液状化 簡便法</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>最適工法の決定</td> <td>人/業務</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>人/業務</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										工 種 (細別)	単 位	職 種							主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	解析計画	人/業務	1.5		1.5	2.0	1.0	0.5	0.5	現地踏査	人/業務			2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	現況地盤解析	※地盤破壊 円弧すべり			1.0	1.5	2.0	2.5	2.0	※地盤変形 簡便法			1.0	1.5	1.0	0.5	2.0	※地盤圧密 一次元解析			1.0	1.5	2.0	1.5	2.0	※地盤液状化 簡便法			1.0	2.0	1.5	1.0	2.5	検討対策工法の選定	人/業務		1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5	対策後地盤解析	※地盤破壊 円弧すべり			1.5	1.5	2.0	2.5	2.5	※地盤変形 簡便法			1.5	1.5	1.5	1.0	2.5	※地盤圧密 一次元解析			1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	※地盤液状化 簡便法			1.5	2.5	1.5	1.5	2.5	最適工法の決定	人/業務		1.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	照 査	人/業務		1.5	1.5	1.0	1.0			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種 (細別)</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="7">職 種</th> </tr> <tr> <th>主任技術者</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>解析計画</td> <td>人/業務</td> <td>1.5</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>現地踏査</td> <td>人/業務</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">現況地盤解析</td> <td>※地盤破壊 円弧すべり</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>※地盤変形 簡便法</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>※地盤圧密 一次元解析</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>※地盤液状化 簡便法</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>検討対策工法の選定</td> <td>人/業務</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">対策後地盤解析</td> <td>※地盤破壊 円弧すべり</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>※地盤変形 簡便法</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>※地盤圧密 一次元解析</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>※地盤液状化 簡便法</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>最適工法の決定</td> <td>人/業務</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>人/業務</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								工 種 (細別)	単 位	職 種							主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	解析計画	人/業務	1.5		1.5	2.0	1.0	0.5	0.5	現地踏査	人/業務			2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	現況地盤解析	※地盤破壊 円弧すべり			1.0	1.5	2.0	2.5	2.0	※地盤変形 簡便法			1.0	1.5	1.0	0.5	2.0	※地盤圧密 一次元解析			1.0	1.5	2.0	1.5	2.0	※地盤液状化 簡便法			1.0	2.0	1.5	1.0	2.5	検討対策工法の選定	人/業務		1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5	対策後地盤解析	※地盤破壊 円弧すべり			1.5	1.5	2.0	2.5	2.5	※地盤変形 簡便法			1.5	1.5	1.5	1.0	2.5	※地盤圧密 一次元解析			1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	※地盤液状化 簡便法			1.5	2.5	1.5	1.5	2.5	最適工法の決定	人/業務		1.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	照 査	人/業務		1.5	1.5	1.0	1.0			
工 種 (細別)	単 位	職 種																																																																																																																																																																																																																																																																														
		主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																								
解析計画	人/業務	1.5		1.5	2.0	1.0	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
現地踏査	人/業務			2.0	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																								
現況地盤解析	※地盤破壊 円弧すべり			1.0	1.5	2.0	2.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤変形 簡便法			1.0	1.5	1.0	0.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤圧密 一次元解析			1.0	1.5	2.0	1.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤液状化 簡便法			1.0	2.0	1.5	1.0	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
検討対策工法の選定	人/業務		1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
対策後地盤解析	※地盤破壊 円弧すべり			1.5	1.5	2.0	2.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤変形 簡便法			1.5	1.5	1.5	1.0	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤圧密 一次元解析			1.5	1.5	1.5	2.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤液状化 簡便法			1.5	2.5	1.5	1.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
最適工法の決定	人/業務		1.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																								
照 査	人/業務		1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																										
工 種 (細別)	単 位	職 種																																																																																																																																																																																																																																																																														
		主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																								
解析計画	人/業務	1.5		1.5	2.0	1.0	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
現地踏査	人/業務			2.0	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																								
現況地盤解析	※地盤破壊 円弧すべり			1.0	1.5	2.0	2.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤変形 簡便法			1.0	1.5	1.0	0.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤圧密 一次元解析			1.0	1.5	2.0	1.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤液状化 簡便法			1.0	2.0	1.5	1.0	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
検討対策工法の選定	人/業務		1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
対策後地盤解析	※地盤破壊 円弧すべり			1.5	1.5	2.0	2.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤変形 簡便法			1.5	1.5	1.5	1.0	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤圧密 一次元解析			1.5	1.5	1.5	2.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※地盤液状化 簡便法			1.5	2.5	1.5	1.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																								
最適工法の決定	人/業務		1.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																								
照 査	人/業務		1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																										
(注) 1. 本標準歩掛は軟弱地盤深さ 60m程度までを対象とし、地盤の深さによる増減は行わない。 2. 現地踏査は、他業務と同時発注の場合であっても、歩掛の低減は行わない。 3. 地盤の破壊に係る検討手法は、円弧(円形)すべり計算に適用する。複合すべり、有限要素法による弾性解析は適用しない。又、地盤の浸透破壊(ボイリング、パイピング、アップリフト=盤ぶくれ、湿潤線上昇に対する安全性)の検討は適用しない。 4. 地盤の変形に係る検討手法は、簡便法(解析理論に基づきモデルを簡素化して一般式を用いた計算)に適用する。詳細法(地盤モデルを分割した要素で作成した詳細モデルによる計算:弾性解析の計算、又は非弾性解析や有限要素法による解析等)には適用しない。 5. 地盤の圧密沈下に係る検討手法は、一次元解析に適用する。断面二次元による有限要素法等によって行う圧密沈下解析は、適用しない。 6. 地盤の液状化に係る検討手法は、簡便法(N値と粒度からFL法で推計:道路橋示方書、V耐震設計編参考)に適用する。詳細法(液状化試験で得られる液状化強度比と地震応答解析で得られる地震時剪断応力比より推計)の一次元解析、断面二次解析(有限要素法)には適用しない。 7. ※印は計算などを必要とする1断面当りの歩掛であり、断面数が2以上となる場合は表4.1により割増率を求め、その値を1断面当りの歩掛に乗じて割増を行う。										(注) 1. 本標準歩掛は軟弱地盤深さ 60m程度までを対象とし、地盤の深さによる増減は行わない。 2. 現地踏査は、他業務と同時発注の場合であっても、歩掛の低減は行わない。 3. 地盤の破壊に係る検討手法は、円弧(円形)すべり計算に適用する。複合すべり、有限要素法による弾性解析は適用しない。又、地盤の浸透破壊(ボイリング、パイピング、アップリフト=盤ぶくれ、湿潤線上昇に対する安全性)の検討は適用しない。 4. 地盤の変形に係る検討手法は、簡便法(解析理論に基づきモデルを簡素化して一般式を用いた計算)に適用する。詳細法(地盤モデルを分割した要素で作成した詳細モデルによる計算:弾性解析の計算、又は非弾性解析や有限要素法による解析等)には適用しない。 5. 地盤の圧密沈下に係る検討手法は、一次元解析に適用する。断面二次元による有限要素法等によって行う圧密沈下解析は、適用しない。 6. 地盤の液状化に係る検討手法は、簡便法(N値と粒度からFL法で推計:道路橋示方書、V耐震設計編参考)に適用する。詳細法(液状化試験で得られる液状化強度比と地震応答解析で得られる地震時剪断応力比より推計)の一次元解析、断面二次解析(有限要素法)には適用しない。 7. ※印は計算などを必要とする1断面当りの歩掛であり、断面数が2以上となる場合は表11.1により割増率を求め、その値を1断面当りの歩掛に乗じて割増を行う。																																																																																																																																																																																																																																																																						

(H27)

改 定	現 行	備 考																														
<p>表 4. 1 検討断面が複数になる場合の補正</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項 目</th> <th style="width: 30%;">総 合 補 正 倍 率</th> <th style="width: 40%;">適 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地 盤 破 壊 (円弧すべり：現況及び対策後)</td> <td>割増率=0.165×断面数+0.835</td> <td>1 1 断面まで</td> </tr> <tr> <td>地 盤 変 形 (簡 便 法：現況及び対策後)</td> <td>割増率=0.106×断面数+0.894</td> <td>6 断面まで</td> </tr> <tr> <td>地 盤 圧 密 (一 次 元：現況及び対策後)</td> <td>割増率=0.085×断面数+0.915</td> <td>2 1 断面まで</td> </tr> <tr> <td>地盤液状化 (簡 便 法：現況及び対策後)</td> <td>割増率=0.045×断面数+0.955</td> <td>8 断面まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>8. 検討対策工法の選定とは、対策工法を抽出し各工法の特長、経済性を概略的に比較検討し、「対策後の検討」を実施する対象を、1つ又は複数選定するもので歩掛は6工法までの選定に適用する。 検討対策工法の選定には、既設構造物への影響評価、環境面への影響検討、新技術を含めた検討を含む。</p> <p>9. 最適工法の決定とは、検討対策工法の選定において工法を複数(2～6工法)選定した場合に、「対策後の検討」結果を踏まえ、総合比較により、最適工法を決定するものである。</p> <p>10. 本表は、表中の適用範囲欄に示す断面数までに適用し、これを超える場合には、別途計上する。</p> <p>11. 電子成果品作成費は、直接人件費に対する率により算出するものとし、算出方法は式 4. 1 によるものとする。 電子成果品作成費=直接人件費×0.04 …………… 式 4. 1 ① 1千円未満は切り捨て。 ② 電子成果品作成費の上限は、400千円とする。</p> <p>12. その他原価、一般管理費等の積算は、「土木設計業務等積算基準」に準ずるものとする。</p> <p>4-2-2 その他 (1) 打合せ 中間打合せの回数は4回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。</p>	項 目	総 合 補 正 倍 率	適 用 範 囲	地 盤 破 壊 (円弧すべり：現況及び対策後)	割増率=0.165×断面数+0.835	1 1 断面まで	地 盤 変 形 (簡 便 法：現況及び対策後)	割増率=0.106×断面数+0.894	6 断面まで	地 盤 圧 密 (一 次 元：現況及び対策後)	割増率=0.085×断面数+0.915	2 1 断面まで	地盤液状化 (簡 便 法：現況及び対策後)	割増率=0.045×断面数+0.955	8 断面まで	<p>表 11. 1 検討断面が複数になる場合の補正</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項 目</th> <th style="width: 30%;">総 合 補 正 倍 率</th> <th style="width: 40%;">適 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地 盤 破 壊 (円弧すべり：現況及び対策後)</td> <td>割増率=0.165×断面数+0.835</td> <td>1 1 断面まで</td> </tr> <tr> <td>地 盤 変 形 (簡 便 法：現況及び対策後)</td> <td>割増率=0.106×断面数+0.894</td> <td>6 断面まで</td> </tr> <tr> <td>地 盤 圧 密 (一 次 元：現況及び対策後)</td> <td>割増率=0.085×断面数+0.915</td> <td>2 1 断面まで</td> </tr> <tr> <td>地盤液状化 (簡 便 法：現況及び対策後)</td> <td>割増率=0.045×断面数+0.955</td> <td>8 断面まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>8. 検討対策工法の選定とは、対策工法を抽出し各工法の特長、経済性を概略的に比較検討し、「対策後の検討」を実施する対象を、1つ又は複数選定するもので歩掛は6工法までの選定に適用する。 検討対策工法の選定には、既設構造物への影響評価、環境面への影響検討、新技術を含めた検討を含む。</p> <p>9. 最適工法の決定とは、検討対策工法の選定において工法を複数(2～6工法)選定した場合に、「対策後の検討」結果を踏まえ、総合比較により、最適工法を決定するものである。</p> <p>10. 本表は、表中の適用範囲欄に示す断面数までに適用し、これを超える場合には、別途計上する。</p> <p>11. 電子成果品作成費は、直接人件費に対する率により算出するものとし、算出方法は式 11. 1 によるものとする。 電子成果品作成費=直接人件費×0.04 …………… 式 11. 1 ① 1千円未満は切り捨て。 ② 電子成果品作成費の上限は、400千円とする。</p> <p>12. その他原価、一般管理費等の積算は、「土木設計業務等積算基準」に準ずるものとする。</p> <p>11-2-2 その他 (1) 打合せ 中間打合せの回数は3回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。</p>	項 目	総 合 補 正 倍 率	適 用 範 囲	地 盤 破 壊 (円弧すべり：現況及び対策後)	割増率=0.165×断面数+0.835	1 1 断面まで	地 盤 変 形 (簡 便 法：現況及び対策後)	割増率=0.106×断面数+0.894	6 断面まで	地 盤 圧 密 (一 次 元：現況及び対策後)	割増率=0.085×断面数+0.915	2 1 断面まで	地盤液状化 (簡 便 法：現況及び対策後)	割増率=0.045×断面数+0.955	8 断面まで	
項 目	総 合 補 正 倍 率	適 用 範 囲																														
地 盤 破 壊 (円弧すべり：現況及び対策後)	割増率=0.165×断面数+0.835	1 1 断面まで																														
地 盤 変 形 (簡 便 法：現況及び対策後)	割増率=0.106×断面数+0.894	6 断面まで																														
地 盤 圧 密 (一 次 元：現況及び対策後)	割増率=0.085×断面数+0.915	2 1 断面まで																														
地盤液状化 (簡 便 法：現況及び対策後)	割増率=0.045×断面数+0.955	8 断面まで																														
項 目	総 合 補 正 倍 率	適 用 範 囲																														
地 盤 破 壊 (円弧すべり：現況及び対策後)	割増率=0.165×断面数+0.835	1 1 断面まで																														
地 盤 変 形 (簡 便 法：現況及び対策後)	割増率=0.106×断面数+0.894	6 断面まで																														
地 盤 圧 密 (一 次 元：現況及び対策後)	割増率=0.085×断面数+0.915	2 1 断面まで																														
地盤液状化 (簡 便 法：現況及び対策後)	割増率=0.045×断面数+0.955	8 断面まで																														

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																								
<p>第5節 地すべり調査</p> <p>5-1 適用範囲と作業内容 本歩掛は、地すべり調査業務単独発注の他、基礎地盤調査が同時に発注される地すべり調査業務に適用する。</p> <p>(略)</p> <p>5-2 計画準備</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">職種</td> <td style="text-align: center;">技 師 長</td> <td style="text-align: center;">主任技師</td> <td style="text-align: center;">技 師 C</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工程</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計画準備</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、次に示す調査項目のうち1種目の場合の標準歩掛であり、調査種目数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて、適用する。また、下記に列挙した調査が全て既存調査である場合には、調査種目数を1種の場合として取り扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動変形調査のうち、伸縮計、傾斜計、パイプ式歪計、挿入式孔内傾斜計。 ・同時発注の調査のうち、地表地質調査、ボーリング調査、弾性波探査、電気探査、地下水位測定、間隙水圧測定、地下水検層、地下水追跡、室内試験のいずれか。 <p>2. 本表は、調査種目数7種目以内及び対象総面積0.6km²以内の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">調査種目数(種目)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">補正係数</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> </tr> </table>	職種	技 師 長	主任技師	技 師 C	工程				計画準備	1.0	1.5	1.5	調査種目数(種目)	1	2	3	4	5	6	7	補正係数	1.0	1.1	1.2	1.4	1.5	1.6	1.7	<p>第12節 地すべり調査</p> <p>12-1 適用範囲と作業内容 本歩掛は、地すべり調査業務単独発注の他、基礎地盤調査が同時に発注される地すべり調査業務に適用する。</p> <p>(略)</p> <p>12-2 計画準備</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">職</td> <td style="text-align: center;">技 師 長</td> <td style="text-align: center;">主任技師</td> <td style="text-align: center;">技 師 C</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計画準備</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、次に示す調査項目のうち1種目の場合の標準歩掛であり、調査種目数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて、適用する。また、下記に列挙した調査が全て既存調査である場合には、調査種目数を1種の場合として取り扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動変形調査のうち、伸縮計、傾斜計、パイプ式歪計、挿入式孔内傾斜計。 ・同時発注の調査のうち、地表地質調査、ボーリング調査、弾性波探査、電気探査、地下水位測定、間隙水圧測定、地下水検層、地下水追跡、室内試験のいずれか。 <p>2. 本表は、調査種目数7種目以内及び対象総面積0.6km²以内の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">調査種目数(種目)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">補正係数</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> </tr> </table>	職	技 師 長	主任技師	技 師 C	種				計画準備	1.0	1.5	1.5	調査種目数(種目)	1	2	3	4	5	6	7	補正係数	1.0	1.1	1.2	1.4	1.5	1.6	1.7	
職種	技 師 長	主任技師	技 師 C																																																							
工程																																																										
計画準備	1.0	1.5	1.5																																																							
調査種目数(種目)	1	2	3	4	5	6	7																																																			
補正係数	1.0	1.1	1.2	1.4	1.5	1.6	1.7																																																			
職	技 師 長	主任技師	技 師 C																																																							
種																																																										
計画準備	1.0	1.5	1.5																																																							
調査種目数(種目)	1	2	3	4	5	6	7																																																			
補正係数	1.0	1.1	1.2	1.4	1.5	1.6	1.7																																																			

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																		
<p>5-3 移動変形調査 5-3-1 伸縮計による調査 ※本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <p>(1) 設 置</p> <p style="text-align: right;">(1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td></td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の62 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 材料費には次のものを含む。格納箱1箱、記録ペン1本、インバー線14m、木杭9本、塩ビ管9m、ソケット2個、雑品。 2. 撤去を行う場合は別途計上する。</p> <p>(2) 観 測</p> <p style="text-align: right;">(1基当り 1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.04</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.04</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の4 %</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>伸 縮 計</td> <td>基・日</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械損料=延べ供用日数×日当り損料</p> <p>(3) 資 料 整 理</p> <p style="text-align: right;">(1基当り 1ヶ月当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の1 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 観測周期は7日を標準とするが、観測周期1日～8日の場合には本表を適用できる。</p>	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.4		主 任 地 質 調 査 員	〃	0.4	地 質 調 査 員	〃	1.2	材 料 費		式	1	人件費の62 %	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	主 任 地 質 調 査 員	人	0.04		地 質 調 査 員	〃	0.04	材 料 費	雑 品	式	1	人件費の4 %	機 械 損 料	伸 縮 計	基・日			種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1		主 任 地 質 調 査 員	〃	0.2	地 質 調 査 員	〃	0.2	材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1 %	<p>12-3 移動変形調査 12-3-1 伸縮計による調査 ※本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <p>(1) 設 置</p> <p style="text-align: right;">(1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td></td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の62 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 材料費には次のものを含む。格納箱1箱、記録ペン1本、インバー線14m、木杭9本、塩ビ管9m、ソケット2個、雑品。 2. 撤去を行う場合は別途計上する。</p> <p>(2) 観 測</p> <p style="text-align: right;">(1基当り 1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.04</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.04</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の4 %</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>伸 縮 計</td> <td>基・日</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械損料=延べ供用日数×日当り損料</p> <p>(3) 資 料 整 理</p> <p style="text-align: right;">(1基当り 1ヶ月当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の1 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 観測周期は7日を標準とするが、観測周期1日～8日の場合には本表を適用できる。</p>	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.4		主 任 地 質 調 査 員	〃	0.4	地 質 調 査 員	〃	1.2	材 料 費		式	1	人件費の62 %	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	主 任 地 質 調 査 員	人	0.04		地 質 調 査 員	〃	0.04	材 料 費	雑 品	式	1	人件費の4 %	機 械 損 料	伸 縮 計	基・日			種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1		主 任 地 質 調 査 員	〃	0.2	地 質 調 査 員	〃	0.2	材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1 %	
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.4																																																																																																																																	
	主 任 地 質 調 査 員	〃	0.4																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	1.2																																																																																																																																	
材 料 費		式	1	人件費の62 %																																																																																																																																
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	主 任 地 質 調 査 員	人	0.04																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	0.04																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の4 %																																																																																																																																
機 械 損 料	伸 縮 計	基・日																																																																																																																																		
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1																																																																																																																																	
	主 任 地 質 調 査 員	〃	0.2																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	0.2																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1 %																																																																																																																																
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.4																																																																																																																																	
	主 任 地 質 調 査 員	〃	0.4																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	1.2																																																																																																																																	
材 料 費		式	1	人件費の62 %																																																																																																																																
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	主 任 地 質 調 査 員	人	0.04																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	0.04																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の4 %																																																																																																																																
機 械 損 料	伸 縮 計	基・日																																																																																																																																		
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1																																																																																																																																	
	主 任 地 質 調 査 員	〃	0.2																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	0.2																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1 %																																																																																																																																

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																		
<p>5-3-2 傾斜計による調査 ※本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <p>(1) 設 置</p> <p style="text-align: right;">(1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td></td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の34 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 材料費には次のものを含む。格納箱1箱，ガラス板1枚，コンクリート（現場打，普通ポルトランド）0.09m³，栗石0.03m³，杉丸太4本，雑品。 2. 撤去を行う場合は別途計上する。</p> <p>(2) 観 測</p> <p style="text-align: right;">(1基当り 1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>主任地質調査員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.04</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.04</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>機械損料</td> <td>傾 斜 計</td> <td>基・日</td> <td style="text-align: center;">0.04</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械損料=延べ供用日数×日当り損料</p> <p>(3) 資料整理</p> <p style="text-align: right;">(1基当り 1ヶ月当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 観測周期は7日を標準とするが，観測周期1日～15日の場合には本表を適用できる。</p>	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.5		主任地質調査員	〃	0.5	地 質 調 査 員	〃	1.5	材 料 費		式	1	人件費の34 %	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	主任地質調査員	人	0.04		地 質 調 査 員	〃	0.04	材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%	機械損料	傾 斜 計	基・日	0.04		種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1		主任地質調査員	〃	0.2	地 質 調 査 員	〃	0.3	材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%	<p>12-3-2 傾斜計による調査 ※本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <p>(1) 設 置</p> <p style="text-align: right;">(1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td></td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の34 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 材料費には次のものを含む。格納箱1箱，ガラス板1枚，コンクリート（現場打，普通ポルトランド）0.09m³，栗石0.03m³，杉丸太4本，雑品。 2. 撤去を行う場合は別途計上する。</p> <p>(2) 観 測</p> <p style="text-align: right;">(1基当り 1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>主任地質調査員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.04</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.04</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>機械損料</td> <td>傾 斜 計</td> <td>基・日</td> <td style="text-align: center;">0.04</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械損料=延べ供用日数×日当り損料</p> <p>(3) 資料整理</p> <p style="text-align: right;">(1基当り 1ヶ月当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>人件費の1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 観測周期は7日を標準とするが，観測周期1日～15日の場合には本表を適用できる。</p>	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.5		主任地質調査員	〃	0.5	地 質 調 査 員	〃	1.5	材 料 費		式	1	人件費の34 %	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	主任地質調査員	人	0.04		地 質 調 査 員	〃	0.04	材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%	機械損料	傾 斜 計	基・日	0.04		種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1		主任地質調査員	〃	0.2	地 質 調 査 員	〃	0.3	材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%	
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.5																																																																																																																																	
	主任地質調査員	〃	0.5																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	1.5																																																																																																																																	
材 料 費		式	1	人件費の34 %																																																																																																																																
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	主任地質調査員	人	0.04																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	0.04																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%																																																																																																																																
機械損料	傾 斜 計	基・日	0.04																																																																																																																																	
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1																																																																																																																																	
	主任地質調査員	〃	0.2																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	0.3																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%																																																																																																																																
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.5																																																																																																																																	
	主任地質調査員	〃	0.5																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	1.5																																																																																																																																	
材 料 費		式	1	人件費の34 %																																																																																																																																
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	主任地質調査員	人	0.04																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	0.04																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%																																																																																																																																
機械損料	傾 斜 計	基・日	0.04																																																																																																																																	
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1																																																																																																																																	
	主任地質調査員	〃	0.2																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	0.3																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%																																																																																																																																

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																																														
<p>5-3-3 パイプ式歪計による調査 ※本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <p>(1) 設 置 (1孔当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">材 料 費</td> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>パ イ プ 式 歪 計</td> <td>本</td> <td>注1</td> <td>φ48mm, t3.6mm</td> </tr> <tr> <td>リ ー ド 線</td> <td>m</td> <td>注2</td> <td>3芯</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>雑品を除く材料費の21%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. パイプ式歪計の算出は、次式による。 N (本数) = D (深度m) 2. リード線数量の算出は、次式による。(余裕長 2.0mを含む) ① 1方向2ゲージの場合 L (1孔当りリード線延長) = D (深度m) ÷ 2 (D (深度m) + 4) ② 2方向4ゲージの場合 L (1孔当りリード線延長) = [D (深度m) ÷ 2 (D (深度m) + 4)] × 2 3. パイプ式歪計はソケットレス仕様を標準とする。 4. 本表は、1方向2ゲージまたは2方向4ゲージ、ゲージ間隔 1.0m、深度 30m以内の場合に適用し、これ以外の場合には別途計上する。 5. 撤去を行う場合は別途計上する。</p> <p>(2) 観 測 (1孔当り 1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>人</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>静 歪 み 指 示 計</td> <td>台・日</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本表は、1方向2ゲージまたは2方向4ゲージ、ゲージ間隔 1.0m、観測深度 30m以内の場合に適用し、これ以外の場合には別途計上する。</p> <p>(3) 資 料 整 理 (1孔当り 1ヶ月当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>人件費の1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 観測周期は7日を標準とするが、観測周期 1～15日の場合には本表を適用できる。</p>	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.5		主 任 地 質 調 査 員	〃	0.5		材 料 費	地 質 調 査 員	〃	1.5		パ イ プ 式 歪 計	本	注1	φ48mm, t3.6mm	リ ー ド 線	m	注2	3芯		雑 品	式	1	雑品を除く材料費の21%	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	主 任 地 質 調 査 員	人	0.04		地 質 調 査 員	〃	0.04		材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%	機 械 損 料	静 歪 み 指 示 計	台・日	0.04		種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1		主 任 地 質 調 査 員	〃	0.2		地 質 調 査 員	〃	0.3		材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%	<p>12-3-3 パイプ式歪計による調査 ※本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <p>(1) 設 置 (1孔当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">材 料 費</td> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>パ イ プ 式 歪 計</td> <td>本</td> <td>注1</td> <td>φ48mm, t3.6mm</td> </tr> <tr> <td>リ ー ド 線</td> <td>m</td> <td>注2</td> <td>3芯</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>雑品を除く材料費の21%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. パイプ式歪計の算出は、次式による。 N (本数) = D (深度m) 2. リード線数量の算出は、次式による。(余裕長 2.0mを含む) ① 1方向2ゲージの場合 L (1孔当りリード線延長) = D (深度m) ÷ 2 (D (深度m) + 4) ② 2方向4ゲージの場合 L (1孔当りリード線延長) = [D (深度m) ÷ 2 (D (深度m) + 4)] × 2 3. パイプ式歪計はソケットレス仕様を標準とする。 4. 本表は、1方向2ゲージまたは2方向4ゲージ、ゲージ間隔 1.0m、深度 30m以内の場合に適用し、これ以外の場合には別途計上する。 5. 撤去を行う場合は別途計上する。</p> <p>(2) 観 測 (1孔当り 1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>人</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>静 歪 み 指 示 計</td> <td>台・日</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本表は、1方向2ゲージまたは2方向4ゲージ、ゲージ間隔 1.0m、観測深度 30m以内の場合に適用し、これ以外の場合には別途計上する。</p> <p>(3) 資 料 整 理 (1孔当り 1ヶ月当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主 任 地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>人件費の1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 観測周期は7日を標準とするが、観測周期 1～15日の場合には本表を適用できる。</p>	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.5		主 任 地 質 調 査 員	〃	0.5		材 料 費	地 質 調 査 員	〃	1.5		パ イ プ 式 歪 計	本	注1	φ48mm, t3.6mm	リ ー ド 線	m	注2	3芯		雑 品	式	1	雑品を除く材料費の21%	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	主 任 地 質 調 査 員	人	0.04		地 質 調 査 員	〃	0.04		材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%	機 械 損 料	静 歪 み 指 示 計	台・日	0.04		種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1		主 任 地 質 調 査 員	〃	0.2		地 質 調 査 員	〃	0.3		材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%	
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																												
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.5																																																																																																																																																													
	主 任 地 質 調 査 員	〃	0.5																																																																																																																																																													
材 料 費	地 質 調 査 員	〃	1.5																																																																																																																																																													
	パ イ プ 式 歪 計	本	注1	φ48mm, t3.6mm																																																																																																																																																												
	リ ー ド 線	m	注2	3芯																																																																																																																																																												
	雑 品	式	1	雑品を除く材料費の21%																																																																																																																																																												
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																												
人 件 費	主 任 地 質 調 査 員	人	0.04																																																																																																																																																													
	地 質 調 査 員	〃	0.04																																																																																																																																																													
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%																																																																																																																																																												
機 械 損 料	静 歪 み 指 示 計	台・日	0.04																																																																																																																																																													
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																												
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1																																																																																																																																																													
	主 任 地 質 調 査 員	〃	0.2																																																																																																																																																													
	地 質 調 査 員	〃	0.3																																																																																																																																																													
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%																																																																																																																																																												
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																												
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.5																																																																																																																																																													
	主 任 地 質 調 査 員	〃	0.5																																																																																																																																																													
材 料 費	地 質 調 査 員	〃	1.5																																																																																																																																																													
	パ イ プ 式 歪 計	本	注1	φ48mm, t3.6mm																																																																																																																																																												
	リ ー ド 線	m	注2	3芯																																																																																																																																																												
	雑 品	式	1	雑品を除く材料費の21%																																																																																																																																																												
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																												
人 件 費	主 任 地 質 調 査 員	人	0.04																																																																																																																																																													
	地 質 調 査 員	〃	0.04																																																																																																																																																													
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%																																																																																																																																																												
機 械 損 料	静 歪 み 指 示 計	台・日	0.04																																																																																																																																																													
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																												
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.1																																																																																																																																																													
	主 任 地 質 調 査 員	〃	0.2																																																																																																																																																													
	地 質 調 査 員	〃	0.3																																																																																																																																																													
材 料 費	雑 品	式	1	人件費の1%																																																																																																																																																												

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																																		
<p>5-3-4 挿入式孔内傾斜計 ※本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <p>(1) 設 置 (1孔当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">φ47mm×3mの立上 がり1mを含む</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>〃</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">材 料 費</td> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>アルミケーシング</td> <td>本</td> <td>注1</td> </tr> <tr> <td>アルミカップリング</td> <td>ヶ</td> <td>注2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ケーシングキャップ類</td> <td>組</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>雑品を除く材料費の7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. アルミケーシング数量の算出は、次式による。 $M(\text{本数}) = D(\text{深度m}) \div 3 + 1$ (端数切り捨て) 2. アルミカップリング数量の算出は、次式による。 $N(\text{個数}) = M(\text{アルミケーシング本数}) - 1$ 3. 本表は、1方向または2方向で0.5~1.0m間隔、深度50m以内の場合に適用し、これ以外の場合には、別途計上する。 4. 撤去を行う場合は別途計上する。</p> <p>(2) 観 測 (1孔当り 1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>主任地質調査員</td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>機械損料</td> <td>孔 内 傾 斜 計</td> <td>台・日</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本表は、1方向または2方向で0.5~1.0m間隔、深度50m以内の場合に適用し、これを超える場合には、別途計上する。</p> <p>(3) 資料整理 (1孔当り 1ヶ月当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 観測周期は7日を標準とするが、観測周期7~15日の場合には本表を適用できる。</p>	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.4	φ47mm×3mの立上 がり1mを含む	主任地質調査員	〃	0.4	材 料 費	地 質 調 査 員	〃	1.2	アルミケーシング	本	注1	アルミカップリング	ヶ	注2		ケーシングキャップ類	組	1.0		雑 品	式	1	雑品を除く材料費の7%	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	主任地質調査員	人	0.1	人件費の1%	地 質 調 査 員	〃	0.1	材 料 費	雑 品	式	1	機械損料	孔 内 傾 斜 計	台・日	0.1	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.2	人件費の1%	主任地質調査員	〃	0.5	地 質 調 査 員	〃	0.5	材 料 費	雑 品	式	1	<p>12-3-4 挿入式孔内傾斜計 ※本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <p>(1) 設 置 (1孔当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">φ47mm×3mの立上 がり1mを含む</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>〃</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">材 料 費</td> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>アルミケーシング</td> <td>本</td> <td>注1</td> </tr> <tr> <td>アルミカップリング</td> <td>ヶ</td> <td>注2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ケーシングキャップ類</td> <td>組</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>雑品を除く材料費の7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. アルミケーシング数量の算出は、次式による。 $M(\text{本数}) = D(\text{深度m}) \div 3 + 1$ (端数切り捨て) 2. アルミカップリング数量の算出は、次式による。 $N(\text{個数}) = M(\text{アルミケーシング本数}) - 1$ 3. 本表は、1方向または2方向で0.5~1.0m間隔、深度50m以内の場合に適用し、これ以外の場合には、別途計上する。 4. 撤去を行う場合は別途計上する。</p> <p>(2) 観 測 (1孔当り 1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人 件 費</td> <td>主任地質調査員</td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>機械損料</td> <td>孔 内 傾 斜 計</td> <td>台・日</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本表は、1方向または2方向で0.5~1.0m間隔、深度50m以内の場合に適用し、これを超える場合には、別途計上する。</p> <p>(3) 資料整理 (1孔当り 1ヶ月当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>地 質 調 査 技 師</td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>地 質 調 査 員</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>雑 品</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 観測周期は7日を標準とするが、観測周期7~15日の場合には本表を適用できる。</p>	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.4	φ47mm×3mの立上 がり1mを含む	主任地質調査員	〃	0.4	材 料 費	地 質 調 査 員	〃	1.2	アルミケーシング	本	注1	アルミカップリング	ヶ	注2		ケーシングキャップ類	組	1.0		雑 品	式	1	雑品を除く材料費の7%	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	主任地質調査員	人	0.1	人件費の1%	地 質 調 査 員	〃	0.1	材 料 費	雑 品	式	1	機械損料	孔 内 傾 斜 計	台・日	0.1	種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.2	人件費の1%	主任地質調査員	〃	0.5	地 質 調 査 員	〃	0.5	材 料 費	雑 品	式	1	
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.4	φ47mm×3mの立上 がり1mを含む																																																																																																																																																
	主任地質調査員	〃	0.4																																																																																																																																																	
材 料 費	地 質 調 査 員	〃	1.2																																																																																																																																																	
	アルミケーシング	本	注1																																																																																																																																																	
	アルミカップリング	ヶ	注2																																																																																																																																																	
	ケーシングキャップ類	組	1.0																																																																																																																																																	
	雑 品	式	1	雑品を除く材料費の7%																																																																																																																																																
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
人 件 費	主任地質調査員	人	0.1	人件費の1%																																																																																																																																																
	地 質 調 査 員	〃	0.1																																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1																																																																																																																																																	
機械損料	孔 内 傾 斜 計	台・日	0.1																																																																																																																																																	
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.2	人件費の1%																																																																																																																																																
	主任地質調査員	〃	0.5																																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	0.5																																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1																																																																																																																																																	
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.4	φ47mm×3mの立上 がり1mを含む																																																																																																																																																
	主任地質調査員	〃	0.4																																																																																																																																																	
材 料 費	地 質 調 査 員	〃	1.2																																																																																																																																																	
	アルミケーシング	本	注1																																																																																																																																																	
	アルミカップリング	ヶ	注2																																																																																																																																																	
	ケーシングキャップ類	組	1.0																																																																																																																																																	
	雑 品	式	1	雑品を除く材料費の7%																																																																																																																																																
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
人 件 費	主任地質調査員	人	0.1	人件費の1%																																																																																																																																																
	地 質 調 査 員	〃	0.1																																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1																																																																																																																																																	
機械損料	孔 内 傾 斜 計	台・日	0.1																																																																																																																																																	
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
人 件 費	地 質 調 査 技 師	人	0.2	人件費の1%																																																																																																																																																
	主任地質調査員	〃	0.5																																																																																																																																																	
	地 質 調 査 員	〃	0.5																																																																																																																																																	
材 料 費	雑 品	式	1																																																																																																																																																	

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																																																																																								
<p>5-4 解析</p> <p>5-4-1 地盤特性検討</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">職種</th> <th style="text-align: center;">主任技師</th> <th style="text-align: center;">技 師 A</th> <th style="text-align: center;">技 師 B</th> <th style="text-align: center;">技 師 C</th> <th style="text-align: center;">技 術 員</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工程 地盤特性検討</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、地盤特性検討1個所の場合の標準歩掛であり、検討個所数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 2. 本表は、検討4個所以内かつ検討対象総面積0.6km²以下とし、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">検討個所数(個所)</th> <th style="text-align: center;">1</th> <th style="text-align: center;">2</th> <th style="text-align: center;">3</th> <th style="text-align: center;">4</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">補正係数</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">2.1</td> <td style="text-align: center;">2.7</td> </tr> </table> <p>5-4-2 機構解析</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">職種</th> <th style="text-align: center;">主任技師</th> <th style="text-align: center;">技 師 A</th> <th style="text-align: center;">技 師 B</th> <th style="text-align: center;">技 師 C</th> <th style="text-align: center;">技 術 員</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工程 機構解析</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、機構解析1ブロックの場合の標準歩掛であり、解析ブロック数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 2. 本表は、機構解析対象合計5ブロック以内かつ解析対象総面積0.6km²以下の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">解析ブロック数</th> <th style="text-align: center;">1</th> <th style="text-align: center;">2</th> <th style="text-align: center;">3</th> <th style="text-align: center;">4</th> <th style="text-align: center;">5</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">補正係数</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> <td style="text-align: center;">2.2</td> </tr> </table> <p>5-4-3 安定解析</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">職種</th> <th style="text-align: center;">主任技師</th> <th style="text-align: center;">技 師 A</th> <th style="text-align: center;">技 師 B</th> <th style="text-align: center;">技 師 C</th> <th style="text-align: center;">技 術 員</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工程 安定解析</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、安定解析断面1断面の場合の標準歩掛であり、断面数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 2. 本表は、解析断面数8断面以内かつ断面の総延長4km以内の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">解析断面数(断面)</th> <th style="text-align: center;">1</th> <th style="text-align: center;">2</th> <th style="text-align: center;">3</th> <th style="text-align: center;">4</th> <th style="text-align: center;">5</th> <th style="text-align: center;">6</th> <th style="text-align: center;">7</th> <th style="text-align: center;">8</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">補正係数</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> </tr> </table>	職種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	工程 地盤特性検討	1.0	1.0	0.5	1.0	1.5	検討個所数(個所)	1	2	3	4	補正係数	1.0	1.6	2.1	2.7	職種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	工程 機構解析	1.5	1.5	1.0	1.0	0.5	解析ブロック数	1	2	3	4	5	補正係数	1.0	1.3	1.6	1.9	2.2	職種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	工程 安定解析	1.0	1.0	1.0	0.5	1.5	解析断面数(断面)	1	2	3	4	5	6	7	8	補正係数	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.6	<p>12-4 解析</p> <p>12-4-1 地盤特性検討</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">職 種</th> <th style="text-align: center;">主任技師</th> <th style="text-align: center;">技 師 A</th> <th style="text-align: center;">技 師 B</th> <th style="text-align: center;">技 師 C</th> <th style="text-align: center;">技 術 員</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種 地盤特性検討</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、地盤特性検討1個所の場合の標準歩掛であり、検討個所数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 2. 本表は、検討4個所以内かつ検討対象総面積0.6km²以下とし、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">検討個所数(個所)</th> <th style="text-align: center;">1</th> <th style="text-align: center;">2</th> <th style="text-align: center;">3</th> <th style="text-align: center;">4</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">補正係数</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">2.1</td> <td style="text-align: center;">2.7</td> </tr> </table> <p>12-4-2 機構解析</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">職 種</th> <th style="text-align: center;">主任技師</th> <th style="text-align: center;">技 師 A</th> <th style="text-align: center;">技 師 B</th> <th style="text-align: center;">技 師 C</th> <th style="text-align: center;">技 術 員</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種 機構解析</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、機構解析1ブロックの場合の標準歩掛であり、解析ブロック数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 2. 本表は、機構解析対象合計5ブロック以内かつ解析対象総面積0.6km²以下の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">解析ブロック数</th> <th style="text-align: center;">1</th> <th style="text-align: center;">2</th> <th style="text-align: center;">3</th> <th style="text-align: center;">4</th> <th style="text-align: center;">5</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">補正係数</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> <td style="text-align: center;">2.2</td> </tr> </table> <p>12-4-3 安定解析</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">職 種</th> <th style="text-align: center;">主任技師</th> <th style="text-align: center;">技 師 A</th> <th style="text-align: center;">技 師 B</th> <th style="text-align: center;">技 師 C</th> <th style="text-align: center;">技 術 員</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種 安定解析</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、安定解析断面1断面の場合の標準歩掛であり、断面数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 2. 本表は、解析断面数8断面以内かつ断面の総延長4km以内の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">解析断面数(断面)</th> <th style="text-align: center;">1</th> <th style="text-align: center;">2</th> <th style="text-align: center;">3</th> <th style="text-align: center;">4</th> <th style="text-align: center;">5</th> <th style="text-align: center;">6</th> <th style="text-align: center;">7</th> <th style="text-align: center;">8</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">補正係数</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> </tr> </table>	職 種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	種 地盤特性検討	1.0	1.0	0.5	1.0	1.5	検討個所数(個所)	1	2	3	4	補正係数	1.0	1.6	2.1	2.7	職 種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	種 機構解析	1.5	1.5	1.0	1.0	0.5	解析ブロック数	1	2	3	4	5	補正係数	1.0	1.3	1.6	1.9	2.2	職 種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	種 安定解析	1.0	1.0	1.0	0.5	1.5	解析断面数(断面)	1	2	3	4	5	6	7	8	補正係数	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.6	
職種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員																																																																																																																																																					
工程 地盤特性検討	1.0	1.0	0.5	1.0	1.5																																																																																																																																																					
検討個所数(個所)	1	2	3	4																																																																																																																																																						
補正係数	1.0	1.6	2.1	2.7																																																																																																																																																						
職種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員																																																																																																																																																					
工程 機構解析	1.5	1.5	1.0	1.0	0.5																																																																																																																																																					
解析ブロック数	1	2	3	4	5																																																																																																																																																					
補正係数	1.0	1.3	1.6	1.9	2.2																																																																																																																																																					
職種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員																																																																																																																																																					
工程 安定解析	1.0	1.0	1.0	0.5	1.5																																																																																																																																																					
解析断面数(断面)	1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																																																		
補正係数	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.6																																																																																																																																																		
職 種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員																																																																																																																																																					
種 地盤特性検討	1.0	1.0	0.5	1.0	1.5																																																																																																																																																					
検討個所数(個所)	1	2	3	4																																																																																																																																																						
補正係数	1.0	1.6	2.1	2.7																																																																																																																																																						
職 種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員																																																																																																																																																					
種 機構解析	1.5	1.5	1.0	1.0	0.5																																																																																																																																																					
解析ブロック数	1	2	3	4	5																																																																																																																																																					
補正係数	1.0	1.3	1.6	1.9	2.2																																																																																																																																																					
職 種	主任技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員																																																																																																																																																					
種 安定解析	1.0	1.0	1.0	0.5	1.5																																																																																																																																																					
解析断面数(断面)	1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																																																		
補正係数	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.6																																																																																																																																																		

(H27)

改 定	現 行	備 考																																																																																								
<p>5-4-4 対策工法選定</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1"> <tr> <th>職種</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> <tr> <td>工程 対策工法選定</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、対策工法選定対象1個所あたりの場合の標準歩掛であり、選定個所数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 2. 本表は、選定個所数3個以内かつ対象総面積0.6km²以内の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1"> <tr> <th>選定個所数(個所)</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> </tr> </table> <p>5-5 報告書作成</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1"> <tr> <th>職種</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> </tr> <tr> <td>工程 報告書作成</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、次に示す調査結果資料のうち1種目を参照する場合の標準歩掛であり、調査種目数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて、適用する。なお、下記に含まれる調査であっても、既存資料は調査種目数として計上しない。また、下記に列挙した調査が全て既存調査である場合には、調査種目数を1種の場合として取り扱う。 ・移動変形調査のうち、伸縮計、傾斜計、パイプ式歪計、挿入式孔内傾斜計。 ・同時発注調査のうち、地表地質調査、ボーリング調査、弾性波探査、電気探査、地下水位測定、間隙水圧測定、地下水検層、地下水追跡、室内試験のいずれか。 2. 本表は、調査結果資料7種目以内の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1"> <tr> <th>調査種目数</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.0</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> <td>1.5</td> </tr> </table> <p>5-6 その他</p> <p>(1) 打合せ 中間打合せの回数は4回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。</p> <p>(2) 電子成果品作成費 地すべり調査の電子成果品作成費は、「土木設計業務等積算基準」による。</p>	職種	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	工程 対策工法選定	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	選定個所数(個所)	1	2	3	補正係数	1.0	1.5	2.0	職種	主任技師	技師 A	技師 B	工程 報告書作成	1.5	1.0	1.5	調査種目数	1	2	3	4	5	6	7	補正係数	1.0	1.1	1.2	1.2	1.3	1.4	1.5	<p>12-4-4 対策工法選定</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1"> <tr> <th>職</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> <tr> <td>種 対策工法選定</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、対策工法選定対象1個所あたりの場合の標準歩掛であり、選定個所数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 2. 本表は、選定個所数3個以内かつ対象総面積0.6km²以内の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1"> <tr> <th>選定個所数(個所)</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> </tr> </table> <p>12-5 報告書作成</p> <p style="text-align: center;">(1業務当り)</p> <table border="1"> <tr> <th>職</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> </tr> <tr> <td>種 報告書作成</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本表は、次に示す調査結果資料のうち1種目を参照する場合の標準歩掛であり、調査種目数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に乗じて、適用する。なお、下記に含まれる調査であっても、既存資料は調査種目数として計上しない。また、下記に列挙した調査が全て既存調査である場合には、調査種目数を1種の場合として取り扱う。 ・移動変形調査のうち、伸縮計、傾斜計、パイプ式歪計、挿入式孔内傾斜計。 ・同時発注調査のうち、地表地質調査、ボーリング調査、弾性波探査、電気探査、地下水位測定、間隙水圧測定、地下水検層、地下水追跡、室内試験のいずれか。 2. 本表は、調査結果資料7種目以内の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。</p> <table border="1"> <tr> <th>調査種目数</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.0</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> <td>1.5</td> </tr> </table> <p>12-6 その他</p> <p>(1) 打合せ 中間打合せの回数は2回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。</p> <p>(2) 電子成果品作成費 地すべり調査の電子成果品作成費は、「土木設計業務等積算基準」による。</p>	職	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	種 対策工法選定	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	選定個所数(個所)	1	2	3	補正係数	1.0	1.5	2.0	職	主任技師	技師 A	技師 B	種 報告書作成	1.5	1.0	1.5	調査種目数	1	2	3	4	5	6	7	補正係数	1.0	1.1	1.2	1.2	1.3	1.4	1.5	
職種	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																					
工程 対策工法選定	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0																																																																																					
選定個所数(個所)	1	2	3																																																																																							
補正係数	1.0	1.5	2.0																																																																																							
職種	主任技師	技師 A	技師 B																																																																																							
工程 報告書作成	1.5	1.0	1.5																																																																																							
調査種目数	1	2	3	4	5	6	7																																																																																			
補正係数	1.0	1.1	1.2	1.2	1.3	1.4	1.5																																																																																			
職	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																					
種 対策工法選定	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0																																																																																					
選定個所数(個所)	1	2	3																																																																																							
補正係数	1.0	1.5	2.0																																																																																							
職	主任技師	技師 A	技師 B																																																																																							
種 報告書作成	1.5	1.0	1.5																																																																																							
調査種目数	1	2	3	4	5	6	7																																																																																			
補正係数	1.0	1.1	1.2	1.2	1.3	1.4	1.5																																																																																			